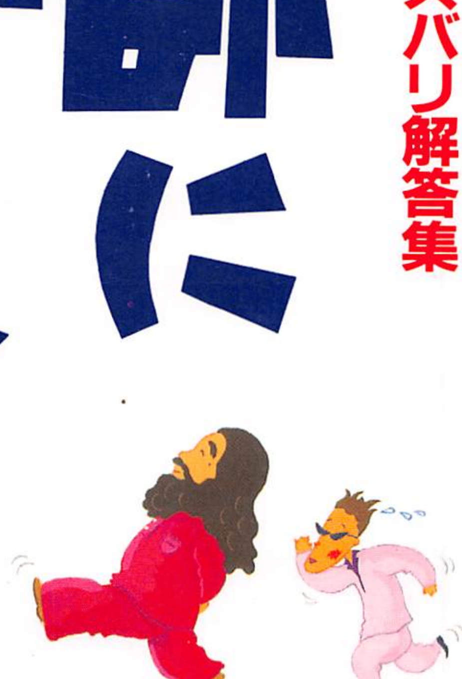
1

真理の御魂（みたま）
最聖 麻原彰晃尊師のズバリ解答集

尊師に聞く！

【真理入門編】



AUM PRES

1

真理の御魂
最聖 麻原彰晃尊師のズバリ解答集

尊師に聞く！

【真理入門編】

AUM PRES

はじめに

「ニューエイジ」「新新宗教」などの言葉が人々の耳目を集めるようになってから久しいが、心の充足を求めて精神世界や宗教を模索する人の数はいっこうに衰える様子を見せない。今、宗教は単なるブームを通り過ぎて、物質的には何不自由ない現代の日本人にとって、欠かすことのできない心の糧となりつつあるのではないだろうか。

そんな中にあって、オウム真理教開祖、最聖麻原彰晃尊師はひときわ異彩を放つ存在である。八年にも及ぶ厳しい修行の末に最終解脱を果たされた麻原尊師の説かれる法は、巷にあふれる〝信じる者は救われる〟的な依存宗教とは一線を画し、実証性・論理性・科学性に裏打ちされた実践的教えであった。そして今、その法を学び、実践し、心の充足を得ている人は確実に増えている。その先頭を歩いているのは解脱を果たした三百数十名の弟子たちであることはいうまでもないが、尊師の説かれる法によって人生の指針を得たり悩みを解決したりする人は、何もオウム真理教の信徒に限らない。全国各地の

大学などで行なわれた尊師講演会に詰めかけた人々もまた、尊師の説かれる法に心の糧や人生の活路を見いだそうとした人たちである。
本書は、そのような一般向け講演会で寄せられた質問とそれに対する尊師の解答を編集した質疑応答集である。
これらの一問一答を読んでいただければおわかりのように、心の内側の探索や宇宙を貫く大原則の認知なくしては「真理」はわからない――。そう考え始めた大勢の人たちが、今、麻原彰晃尊師の明快な法によって「真理」をつかもうとしているのである。
本書によって、一人でも多くの人が「真理」に巡り合うこと願って。

一九九二年九月

ＡＵＭ　ＰＲＥＳ

尊師に聞く！

1

【真理入門編】

E N T S





C O N T

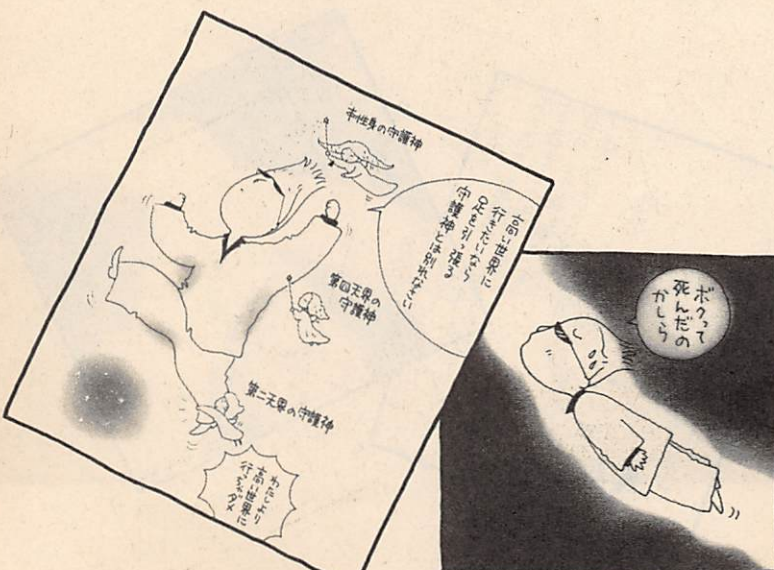


ボクの前生は……？
現象を淡々と見つめて何が本質で何が本質でないかを理解するのですヨ！
うっうー
皮があって肉があって骨があって……胃があって肝臓があって……
カッコつけてもしょうがない…か

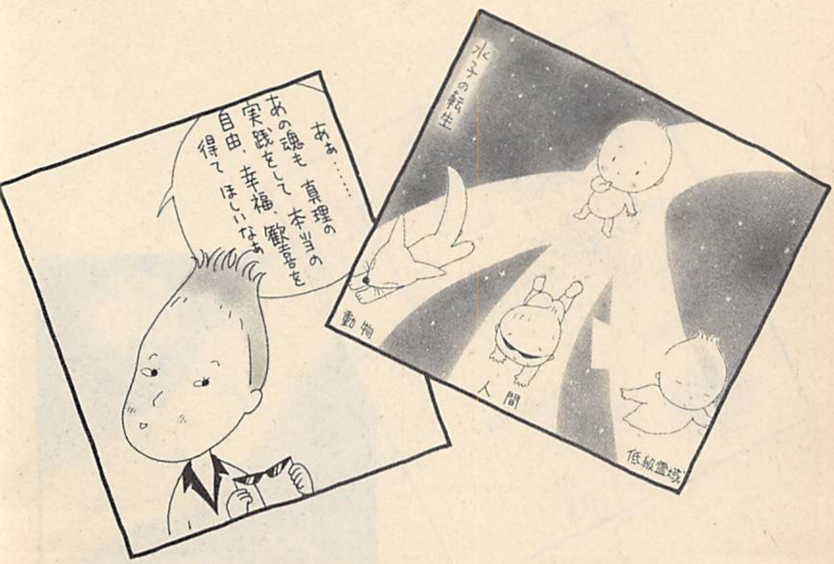
E N T S


手を離すと
リンゴが
下に落ちるのは
わたしの
心の働き
なのですね
……
絶対自由
絶対幸福
絶対歓喜
そうだね
いってしまえば
それだけのこと
しかし それが
すべてです!

C O N T

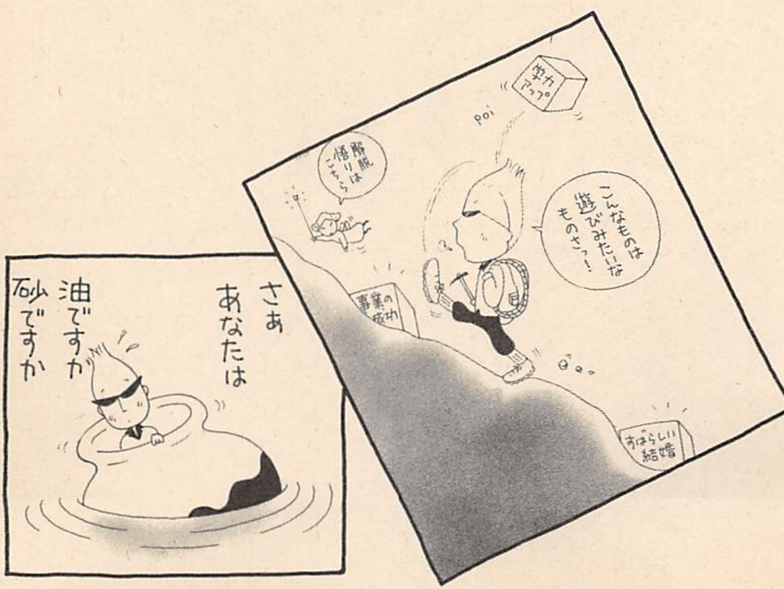

本性身の守護神
高い世界に行きたいなら足を引っ張る守護神とは別れなさい
第四天界の守護神
第二天界の守護神
わたしより高い世界に行っちゃダメ
ボクって死んだのかしら

E N T S



第5章 教えて！不思議現象

C O N T



序章　尊師に聞く前に

この「尊師に聞く前に」は、本書を読み進めるに当たって、ぜひ知っておいていただきたい基本的な知識をまとめた章です。

修行で得た経験と最終解脱者の純粋観照智を駆使してズバリと斬る麻原尊師の解答は、専門的なことがわからなくても十分納得できるものです。しかし、解答の背景にある真実の宇宙観や仏教・ヨーガ理論の基本的事項を知っていれば、より深く、そして広く理解することが可能になるでしょう。

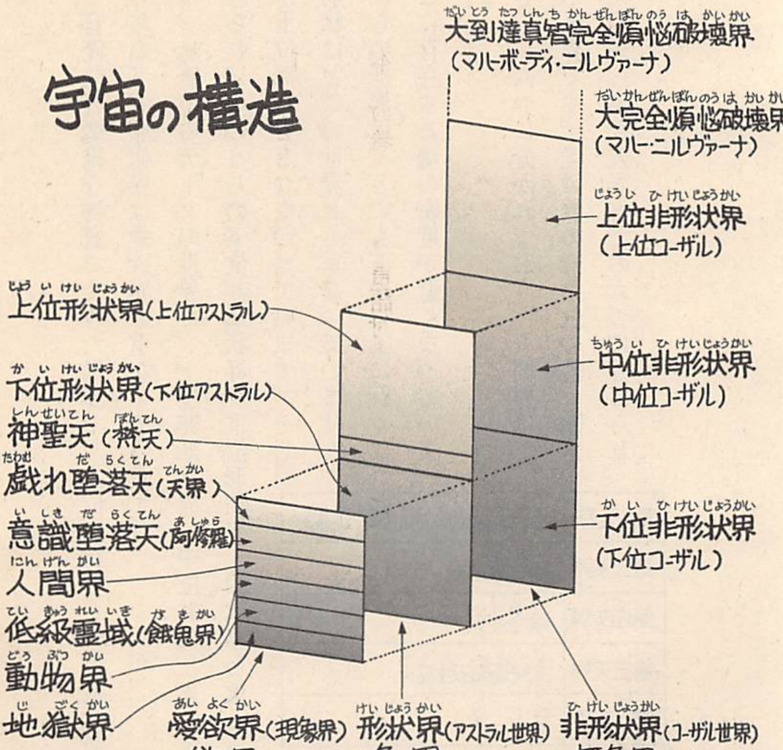
また、オウム真理教で進めているパーリ聖典の翻訳による訳語と従来の仏教用語の比較については、本書の巻末にある言語対比表を参照してください。

宇宙の構造

この宇宙は、次の図に示すように、大きく愛欲界（あいよくかい）・形状界（けいじょうかい）・非形状界（ひけいじょうかい）・大完全煩悩破壊界（だいかんぜんぼんのうはかいかい）に分類することができます。

愛欲界は、現在わたしたちが生きている人間界も含まれ、熱優位の粗雑な物質でき

宇宙の構造


大到達真智完全煩悩破壊界
（マハーボーディ・ニルヴァーナ）
大完全煩悩破壊界
（マハー・ニルヴァーナ）
上位非形状界
（上位コーザル）
中位非形状界
（中位コーザル）
下位非形状界
（下位コーザル）
上位形状界（上位アストラル）
下位形状界（下位アストラル）
神聖天（梵天）
戯れ堕落天（天界）
意識堕落天（阿修羅）
人間界
低級霊域（餓鬼界）
動物界
地獄界
愛欲界（現象界）
＜欲界＞
形状界（アストラル世界）
＜色界＞
非形状界（コーザル世界）
＜無色界＞

ています。

形状界は、音優位の微細な物質でできた世界で、上位形状界と下位形状界に分かれており、そのうちの下位形状界は愛欲界と重なっています。

非形状界は、光優位のデータの世界で、上位非形状界・中位非形状界・下位非形状界の三つに分けられ、そのうちの下位非形状界が下位形状界・愛欲界と重なっており、中位非形状界が上位形状界とつながっています。そして、上位非形状はどこの世界とも重なっていません。

さて、これらの世界は、どこも下から上に行くに従って、そこに存在する魂の密度が低くなっています。

愛欲界はさらに六つに分かれており、人間界は下から四番目の世界です。愛欲界の最上位の戯れ堕落天は、第一天界から第六天界までの六つに分けられます。

第六天界	為他神以神通創造欲望満足従事天	
第五天界	創造満足天	
第四天界	除冷淡天	
第三天界	支配流転双生児天	
第二天界	三十三天	
第一天界	四大王天	(東) 堅固王国天 (南) 成長天 (西) 統治変化自在天空天 (北) 守庶民外傷天

戯れ堕落天

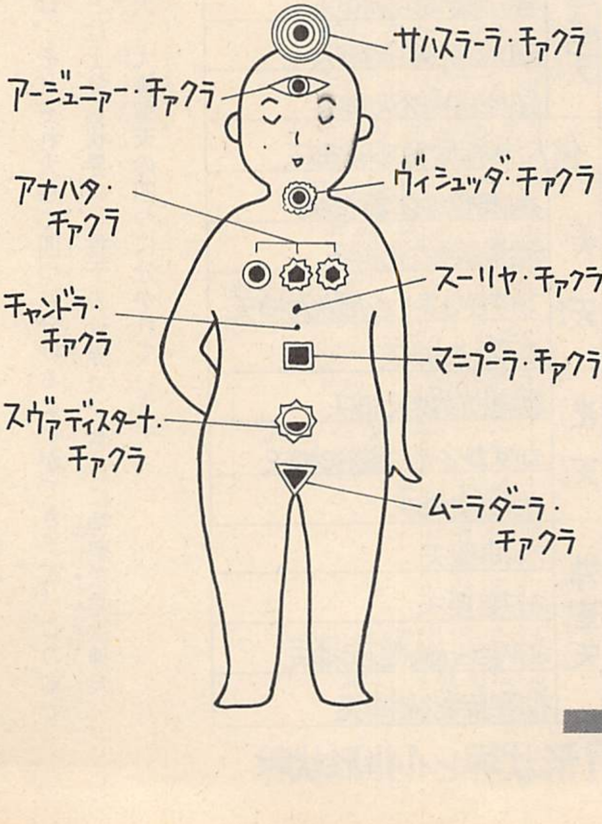
上位形状界、上位非形状界は、それぞれ大きく四つに分けることができます。この本で度々説明される「神聖天」とは上位形状界の一番下の世界で、さらに神聖衆愛欲神天・神聖代議愛欲神天・神聖臣天・大神聖天の四つに分かれています。

非形状界		非認知非非認知境
		無所有境
		識別無辺境
		空間無辺境
形状界	清潔居住天	超越童子愛欲本質神天
		善現象愛欲神天
		善安楽愛欲神天
		超燃焼愛欲神天
		超空間愛欲神天
	偉大果報愛欲本質神天	
	美天	総美愛欲本質神天
		無量美愛欲神天
		かすかな美しさの愛欲神天
		美愛欲神天
	光天	無量光愛欲神天
		かすかな光の愛欲神天
		光愛欲神天
	神聖天	大神聖天
		神聖臣天
		神聖代議愛欲神天
		神聖衆愛欲神天

17形状界と4非形状界

チァクラとクンダリニー

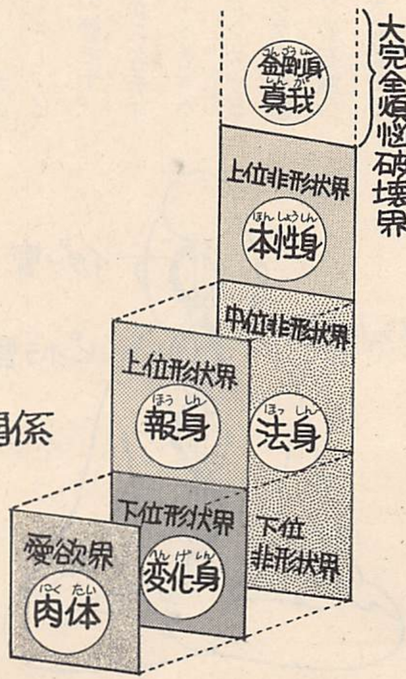
チァクラとは人間の身体にある霊的センターで、だれでもそれぞれの場所に持っているのですが、普通の人はそれが眠った状態で働いていません。修行によって尾てい骨のところに眠っているクンダリニーという霊的エネルギーを覚醒させ、それを上昇させることによっ



て徐々に開発されていきます。

チャクラは、身体の下部に位置するものに比べ、上部へ行くほど次元が高くなっています。

このチャクラには、それぞれ特別な身体が存在しており、修行によって自在に動かすことができるようになります。この身体を使って形状界・非形状界へ行くことができます。

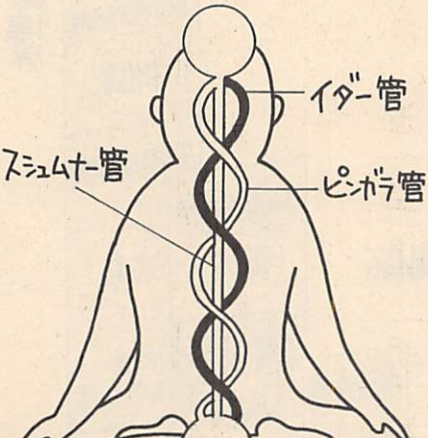


三つの世界と
五つの身体の位置関係

三つの管

わたしたちの身体には、エネルギーを通す七万二千本の管（ナーディー）がありますが、特に重要なのは、イダー、ピンガラ、スシュムナーの三つの管です。

イダー管は、尾てい骨の左側から各チァクラを通過してアージュニァー・チァクラの左側へと通っている管、ピンガラ管は尾てい骨の右側から各チァクラを通過してアージュニァー・チァクラの右側へ至る管、スシュムナー管は中央の管です。



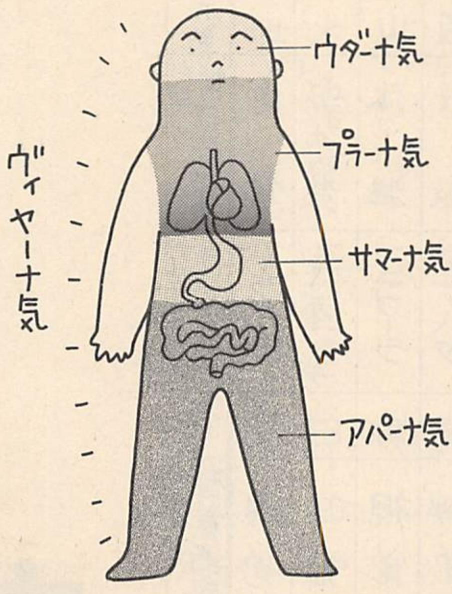
五大エレメント

わたしたちの肉体は、地・水・火・風・空の五つのエレメントによって構成されています。地元素は肉や骨の固定的な形を持ったもの、水元素は血液・精液・胆汁といった水分、火元素は体温、風元素は呼吸、空元素は鼻の穴、口の中といった空間を表わしており、それぞれ、ムーラダーラ・チァクラからヴィシュッダ・チァクラに対応しています。

元素	対応する体の構成要素	対応するチァクラ	色	対応する感覚器官
地	肉・骨	ムーラダーラ	黄	嗅覚
水	血液などの水分	スヴァディスターナ	白	味覚
火	体温	マニプーラ	赤	視覚
風	呼吸	アナハタ	緑	触覚
空	空間(肺など)	ヴィシュッダ	青	聴覚

五種の気

わたしたちの身体を動かしているのは、アパーナ気、サマーナ気、プラーナ気、ウダーナ気、ヴィヤーナ気という五種の気です。アパーナ気はへそから足の裏にかけて、サマーナ気は心臓からへそにかけて、プラーナ気は鼻先から心臓にかけて、ウダーナ気は頭から鼻先にかけて働いており、ヴィヤーナ気とは全身にわたって体を守っている〝オーラ〟のことです。



三体質

わたしたちの体質は、胆汁体質、粘液体質、風体質の三つに分類することができます。

胆汁とは胆嚢（たんのう）から分泌される消化剤、粘液とは例えば粘膜に付着しているどろどろとしたもの、風とはナーディーを駆け巡っているエネルギーを指しています。

第1章 入門！オウム真理教

三つの救済



尊師がオウム真理教をお始めになられた動機というか、きっかけのようなものがありましたらお教えください。



オウム真理教の基本的な考え方に「三つの救済」があります。

この三つの救済とは何かというと、まず第一に、病苦からの解放。これは今、野方の方に「オウム真理教附属医院」というのがありまして、実際問題としてガンを死滅するための特別な治療法ですとか、あるいはエイズに対しての研究ですとか、あるいはその他の難病に対して、ヨーガ的・仏教的なものを取り入れながら病気の治療を行なっています。その病苦から解放することをきっかけとして、真理に目覚めさせ、そして高い世界へと転生させるということが一つですね。

それから第二番目は、現世の苦悩からの解放と。これは、生き方のスタイルが間違っているがために苦しみが生じていると。よってそのスタイルを、少しずつ変えていただ

くことによって、現実的な生活をより良くし、それによって豊かな心とそして高い転生へ向けさせると。

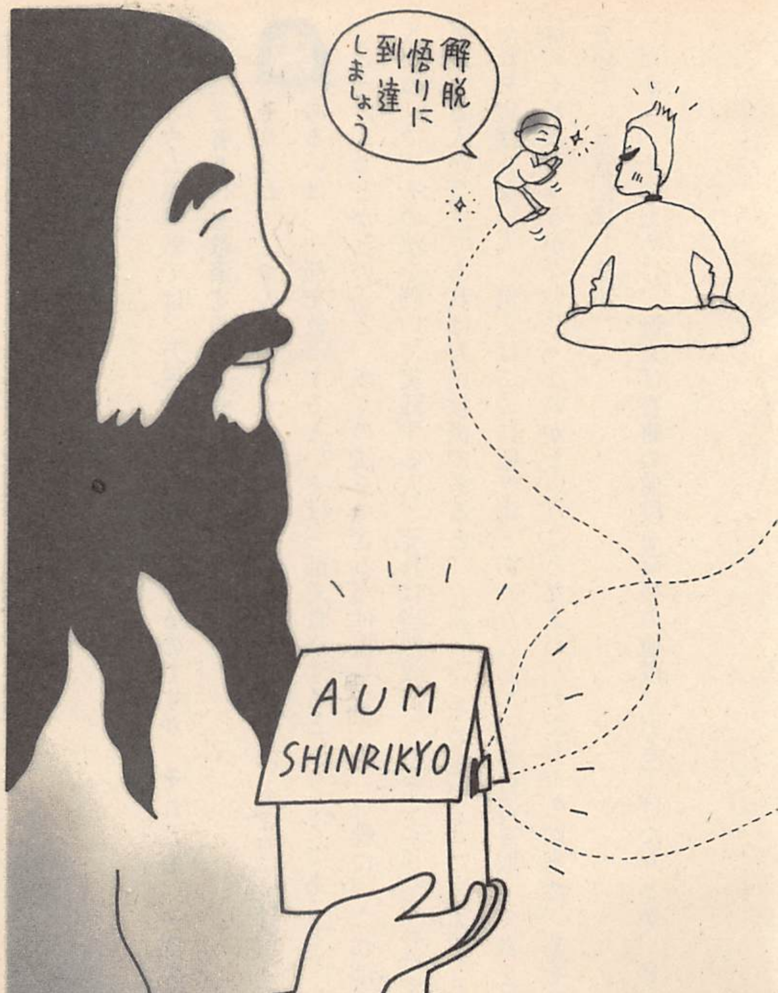
それから第三番目は、解脱・悟りへ至らせるための救済と。これは、お釈迦様も説いていらっしゃるとおり、十数段階の段階がありますから、その段階に合わせた形での救済計画を展開すると。

そして、この三つを展開していくためには、どうしても団体が必要であると。それは、例えば本を一冊作るにしろ、著者がいればすむわけではないと。例えば、現代では売れる本しか出さないと。売れる本ということはどういうことかというと、当然煩悩的な、皆さんの煩悩を満足させるような本しか出せないと。ここで、思想的な、あるいは宗教的な本を出す場合、当然本を書き、それを編集し、そしてデザインし、そしてそれを写植に打ち、そしてスキャナーを使ったり、あるいはレタッチを使って、次は刷版に至り、そして印刷すると。そして印刷したものを裁断し、一冊の本に仕上げるといったような本を作るまでの過程と、そしてその本を書店に実際に並べる人たち、そういう人たちが必要になってくると。

そういう救済計画を展開するためには、教団が必要であるということで、オウム真理教は発足したわけです。

（九二年六月六日・神奈川薬業会館）




解脱
悟りに
到達
しましょう
AUM
SHINRIKYO

開かれた法



オウム真理教では、万民救済を目指しているのですか。それとも、一部の選ばれた者だけを救済するのですか。



それはね、二つの考え方があって、一つは万民救済といえば万民救済であると。あるいは、一部を救済するといえば一部を救済するということであると。

どういうことかというと、多くの法をできるだけ振りまくと、一般に。これはまずOKだね。で、その法を聴いて実践する人、それは当然救済されることになるわけだから、実践する人が万民であれば万民救済であると。しかし、その法がそこに存在するのに、それを実践しない人、例えばここに薬と毒とあったとして、その毒を取って毒を飲む人は、それはしょうがないじゃないかということだよね。わたしたちは当然、薬を飲みなさいという宣伝はします。

だから、そのために、例えば書籍の値段を破格の値段に引き下げたりとか、ビデオの

値段を引き下げたりとかいう工夫をしながら、できるだけ多くの人に、入信する入信しないはともかくとして、まずオウム真理教の教えを広める必要があるということで実践しているわけです。

そしてその延長上に、最終的な救済が存在するわけだけれども、開かれた法であることは間違いないと。で、開かれた法イコール万民救済だというならば、それは万民救済であるということだよね。

（九一年十一月二十四日・京都大学）



真理


オウム真理教は仏教をベースにしているということですが、大乗の教えなのですか。それとも小乗の教えなのですか。


オウム真理教の教えは、大乗でも小乗でもなく真理です。
というのはどういうことかといいますと、まず小乗の教えを完成したら、大乗の教えへ入るべきである、しかし、入らない魂は、そこでニルヴァーナに入ると。そして、大乗の教えをより積極的に実践するためには、秘密金剛乗（ひみつこんごうじょう）の教えに入るべきであるというふうに考えています。

つまり、できるだけ早く高い悟りへ到達し、高い解脱をなし、そしてそれを衆生に還元することが修行の目的であるということです。ですから、オウム真理教の教えは、小乗、大乗、それから真言秘密乗（しんごんひみつじょう）、それから金剛乗すべてを兼ね備えていると考えてください。

（九二年六月十三日・京都教育文化センター）


真言秘密金剛乗
オウム真理教の教えは"真理"です
大乗
小乗

性善説？ 性悪説？

オウム真理教の教義は、いわゆる性善説・性悪説というと、性悪説的な立場を採っておられるんですか。

いや、性善でも性悪でもない。つまり、その人が前生において善行をなすならば、それは当然性善になるだろうし、前世において悪業をなすならば、当然それは性悪になるだろうし、前世において善行も悪業もなさないならば、それは性善でも性悪でもないということだよね。つまり、固定的にものを見るのではなく、その人が前に何をなしたかで決まるということです。

（九一年十一月二十四日・京都大学）





前生で何をなしたかが　今生の

伝播か実践か？



本をたくさん出版したり講演会や説法をいっぱいやって法を説けば真理というものは表現できるとお考えなのか、それとも先程紹介していただいた呼吸法とか修行とか技術的なものをやっていって、その人自身が真理を見つけていかなきゃならないのか、どちらなのでしょうか。



それは両方です。つまり、個人的には体験がなければしょうがないという考え方がわたしの中にあります。

ですから、皆さんが今日の話だけではなく、今日伝授した入息出息の仕方をマスターすることによって、内側の体験をどんどん深めていくということが達成されれば、それはそれで個人的な真理の探求というものがより発展的に行なわれているんだなと理解することはできると思いますし、逆に、このような多くの人に対する講演会とか、あるいは、モスクワ放送を使っての日本の多くの人に対するアプローチというのは、それによっ

て精神的な悟りを得たり、あるいは実際的に苦しみから解放されたりする人が多ければ、それもまた一つの真理の実践であると考えています。

（九二年六月四日・北海道大学）



成就者


仏教の本場ともいえるインド、スリランカで何人もいない成就者が、オウム真理教では大勢いるということなんですが、そのへんの違いはどういうところからくるんでしょうか。


結論からいうと、不放逸(ふほういつ)そして極限、この二つを今のオウム真理教では実践できるだけの場があると。それからもう一つは、日本人という特質、この二つが絡み合って、そういうことが可能になっているんだと考えます。

　というのは、もともと日本人というものは大変な努力家であると、本質的に。それと同時に、先程言った修行のできる場というものが提供されているとするならば、教えが存在し、場があるのですから、当然達成できるわけです。

（九二年六月六日・神奈川薬業会館）


attainment
不放逸（ふほういつ）休まずたゆまず実践すること
極限
ボクだってがんばって成就する!

神通力



オウム真理教というと超能力が有名ですが、そういうものは本質的なものではないと考えているのですか。



はい、おっしゃるとおりです。超能力には二つあります。一つは、要するに煩悩を満たすために初期の段階で開発される超能力。要するに心の成熟しない状態で、煩悩優位の状態で現われる超自然的な力ということだね。これはオウム真理教では完全に否定しています。

そして、もう一つは〝超能力〟と呼ぶにはふさわしくない偉大な力、神通力です。この神通力の方は、肯定しています。なぜなら、こちらの方は、心が成熟した状態で現われる、要するに神々の力だからです。

（九二年六月七日・新東京本部）


やぁ、緑色のバルドーが見えるぞ。またいろんな女の子に目がいってるんじゃないか！
尊師にはなんにも隠せない……

真理は一つ



僕は、真理は一つしかないと思っています。で、世の中にはいろんな宗教団体がありますが、オウム真理教は真理なんでしょうか。

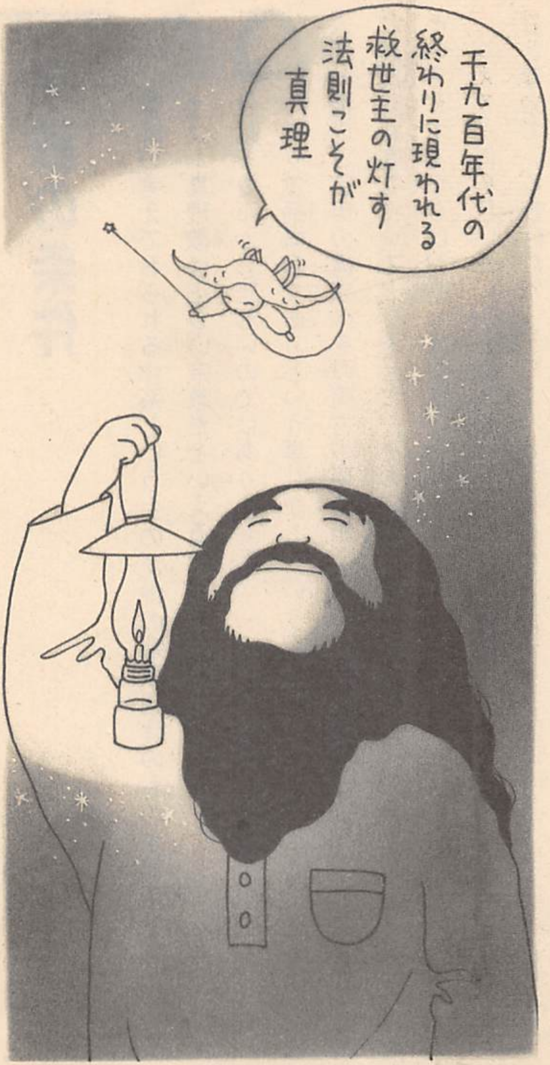


イエス・キリスト、あるいは仏陀釈迦牟尼（ぶっだしゃかむに）、あるいはノストラダムス、まあいろいろな予言者たちがいたわけですが、その予言者たちの予言のいろいろな項目を分析すると、次のことが浮かび上がってくるのです。本当の意味での真理の灯明を灯す救世主は日本から現われる。そして、それは七千年期、つまり、千九百年代の終わりである。そして、その救世主の灯す法則こそが真理である。

加えて、その救世主の特徴としては、例えば半眼、つまり目が半分しかない、つまり見えないとか、あるいは盲目であるとか、あるいは髭（ひげ）もじゃであるですとか、いろいろな形の表現形式がとられていますから、おそらくわたしのことを指しているんじゃないかなと。これは、九十九パーセント間違いないだろうが、まだ百パーセント確定してい

ません。でも、間もなくしたら、その内容についても皆さんにお知らせすることができるのではないかと考えています。

（九二年六月十七日・東京大学）



宗教の条件



尊師の考えておられる体系というものが他の宗教団体のものを包括できるから、オウム真理教は正しい宗教だといえるのですか。



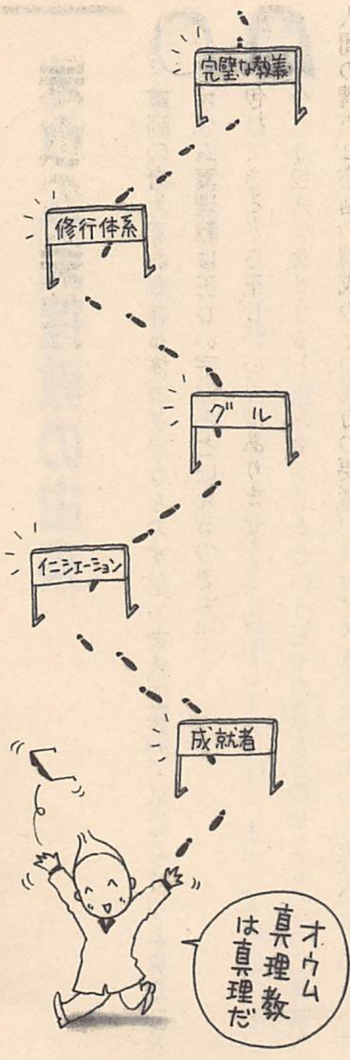
包括できるから正しいのではありません。

つまり包括概念であるという単純なそういうものだけではなくて、例えばだよ、人間の構成と宇宙の構成のその両方の要素がミックスされた状態において、完璧なそこに理論が存在していると。そして、その完璧な理論を実際に体験しているという人たちがいるとするならば、それは完璧だよね。

つまり、何を言いたいかというと、わたしは、宗教というのは五つの要素が必要であると考えているわけだ。

そのまず第一は、完璧な教義であると。第二は、その教義を具体的に現象化する、つまり、実際に体験できる修行体系が存在していることと。第三は、個人個人に対する完璧

なアドバイスができるグルが存在しなきゃならないと。そして第四番目は、現代人はいろいろな煩悩のデータをたくさん持っているから、それを瞬間的に変える、あるいは時間をかけて変えるようなイニシエーションが存在しなきゃならないと。そして第五番目は、その説かれた世界を各段階において経験している魂が存在していなきゃならないと。
これだけの五つの条件がそろって初めて、真の宗教といえるのではないかと思います。
（九一年十一月二十三日・東京大学）



オウム真理教の由来



原始仏教と深い関連があるそうなんですが、あえて仏教ではなくオウム真理教として伝道活動を行なっているのはなぜですか。

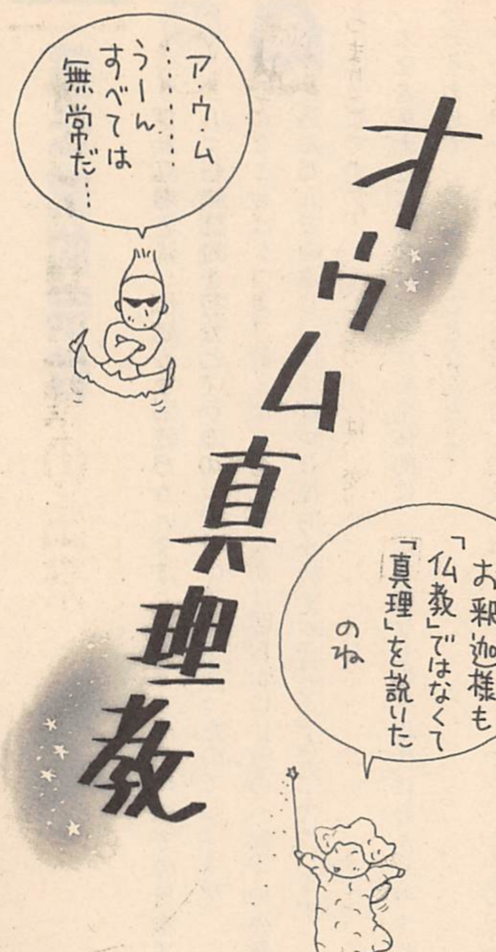


では、〝オウム真理教〟という名の由来をご説明しましょう。まず〝オウム〟というのは、サンスクリット語のア・ウ・ムという三つの音を合わせたもので、〝無常〟、つまりこの世の中のすべての現象は、変化し続けているものであって実体でないということを表わしています。

それから、〝真理〟というのは何かというと、これはお釈迦様も仏教をお説きになったわけではないんです。というのは、お釈迦様の初転法輪、つまり初めてお釈迦様が弟子たちに説法をなさったときに、これは「絶対の真理」であると、そして「真理」とは「苦しみ」、「苦しみの生起」、「苦しみの滅尽」、「苦しみの滅尽に至る方法」であるという言葉を使っていらっしゃるわけですね。ですから、当然原始仏教と同じ法則を説く場合、

それは仏教ではなくて「真理」でなければならないということで、オウム真理教という命名がなされたわけです。

（九二年六月十七日・東京大学）



超伝統的宗教



オウム真理教は、伝統的な宗教だということなんですが、今までの日本では、そういった伝統的な宗教というのは、根づいていなかったのでしょうか。



そんなことはないよ。例えば、道元なんかは明らかに仏教の一部、禅の教えを持ち込んだ人であるし。ぽつぽつと禅的な教えを持ち込んだ人はいます。しかし、それは一部です。

オウム真理教の場合は、それを全体的に、伝統的なものを現代にわかりやすく説き明かそうとしているということなんだよ。

だから、オウム真理教は超伝統的な宗教ということだよ、そういう意味でいったら。

（九一年十一月四日・気象大学）


道元
仏教の一部
仏教の全体
伝統的なものを現代にわかりやすく！

立場と目的



オウム真理教の目的は何であるのか、また、キリスト教、仏教、ヒンドゥー、イスラム、ラマ教等々の宗教を否定したところにオウム真理教はあるんでしょうか。

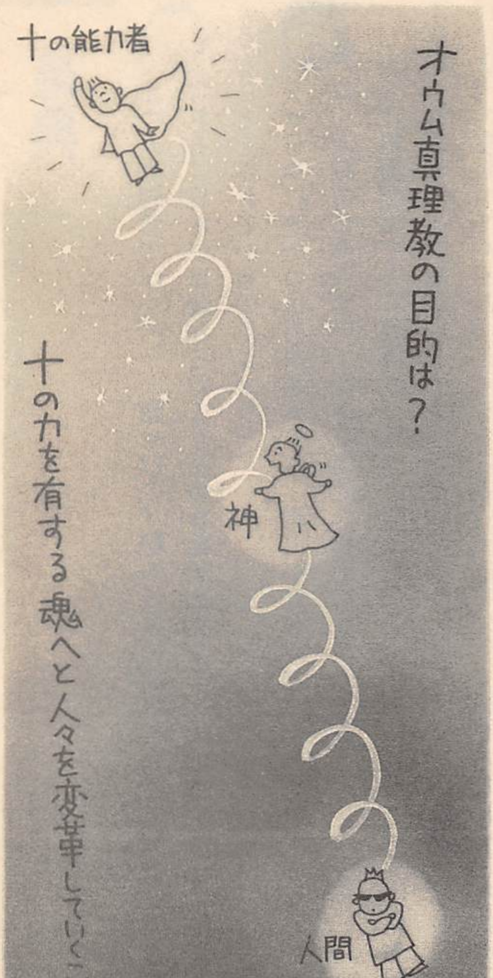


まずオウム真理教は、すべての宗教、といっても、一つの流れに属する宗教は肯定しています。それらの中に統一性があるはずであると。そして、その統一された部分こそ真理であるというふうに考えているわけだね。

というよりも、別の見方をするならば、オウム真理教の教えというのは、今から二千六百年前にお説きになった釈迦牟尼の、サキャ神賢の教えこそすべての教義を内在しているというふうに考えているわけです。それを証明しようとしているわけだね。これがオウム真理教の存在する意義の一つであると。

じゃあオウム真理教の目的とは何かというと、要するにその教義体系というものは、わたしたちを人間から神にし、そして——まあ、仏陀というのは実際あるステージであ

るから、ここではそれを包含する概念として、十の力を有する魂という言葉を使います
けれども――この十の力を有する魂へと人々を変革していくことを目的としています。
（九一年十一月三日・東北大学）



経典



オウム真理教ではチベット語やパーリ語の仏典の翻訳をされていると聞きましたけれど、日本には昔からたくさんのお経があるのに、なぜ今オウム真理教でそのようなことをされているのでしょうか。



なぜ日本に漢訳の仏典があるのに、漢訳から訳さないのかということですね。実は、漢訳の仏典についてもある程度の翻訳はしています。

しかし実際問題として、漢訳だとサンスクリット語が中国語になり、中国語がそのまま移入されると。ところが、この中国語というのはクセモノで、その意味というのは時代によって変わってくると。とするならば、サンスクリット語→中国語→日本語という流れはあまりにも訳者の意図が入りすぎているがあまり、本質が理解できないということになるわけですね。

よって、原典といわれているパーリ語の最も完成された形で残っているスリランカの

経典、パーリ三蔵の翻訳、あるいは、その経典の教えから多くの成就者が出、その成就者によって展開されたタントラ・ヴァジラヤーナの教え――これはチベットに伝わるわけですが――その教えを翻訳することによって、世界の仏教の本質というものを探ろうとしているわけです。

結論からいうならば、この〝探る〟という言葉は正しくないですね。わたしも多くの真理勝者の弟子だった生があります。例えば、例を挙げるならばヴィパッシー真理勝者だとか、あるいはカッサパ真理勝者だとか――わたしの前生では、カッサパ真理勝者のとき、わたしとサキャ神賢（しんけん）は法友だった生もあるわけです――そういう前生の流れから、今日本に伝わっている仏典というものは、衆生（しゅじょう）の済度（さいど）に役立っていないというのがわたしの見解です。

だから、衆生を済度するのに必要な経典、あるいはわたしが過去世において習い、そして修習した経典をできるだけ多く翻訳し、それをわかりやすい形で日本語に翻訳し、そして日本の人たちにそれを伝えること、これはオウム真理教の一つの使命だと考えているのです。

（九二年六月二十一日・大阪阿倍野区民ホール）

出家は現実逃避か？



オウム真理教で出家した方々を見ていると、宗教イコール生活みたいな部分がかなり見えるんですが、その一方で、現実問題にクエスチョンマークを投げかける形で出家をするようなところがあるのじゃないでしょうか。それがともすると現実逃避というふうに見えてしまうように僕は感じてしまうのですが。

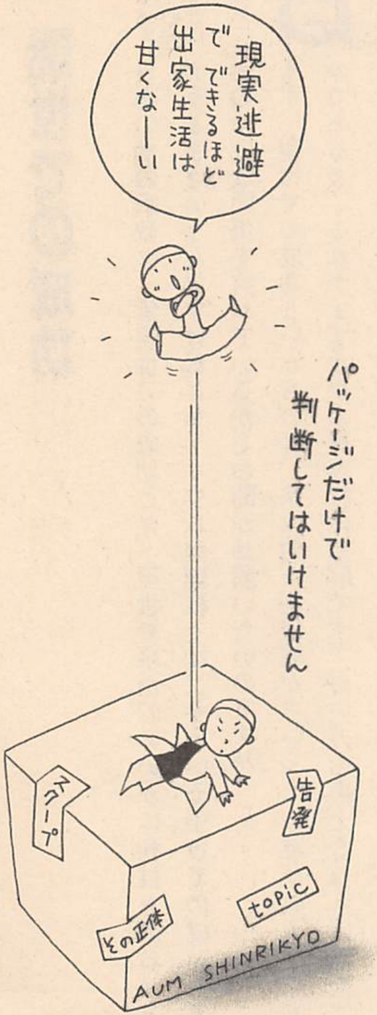


あなたが言うとおり、現実逃避をして出家した弟子はいます。これは認めよう。しかし、そういう弟子は一部であると。というのは、あなた方が普段生きている生き方と、オウム真理教で出家した後に生きる生き方というのは、それは本当に雲泥の差ほど大変だから、出家の方が。わたしは、それで答えになっていると思うんだけれど、どうですか。

　それからもう一つは、これは、五つの愛欲の構成要素があるわけだけれど——それは、形状-容姿、感覚、イメージ、それから経験の構成、そして識別と五つあるわけだけれど——

この中の三番目のイメージ、君たちが得ているオウム真理教のイメージというのは、まさにマスメディアがつくり上げたイメージだと思うんだよね。その、イメージによってつくり上げられたオウム真理教に対してだよ、中身を知らないで、つまりパッケージで、オウム真理教の出家修行者がどうだと発言するのは軽薄であるような気がするんだけれど、どうかな、それは。

（九一年十一月四日・気象大学）



現世での成功



日本の他の宗教は、皆現世での成功とか、現世で経済的にいかに利益を得るかということをいうんですけれども、オウム真理教では、そういう現世での成功と信仰とはどのような関係を持っているかをお聞かせ願いたいのですが。



まず、現世での成功というものは、宗教的な価値観からいったら遊びのようなものであると。これがまずオウム真理教の見解です。言い方を換えるならば現世での成功もできないようでは、仕方がないと。よろしいでしょうか。で、それに飽きた人が、解脱・悟りを得るんだということですね。

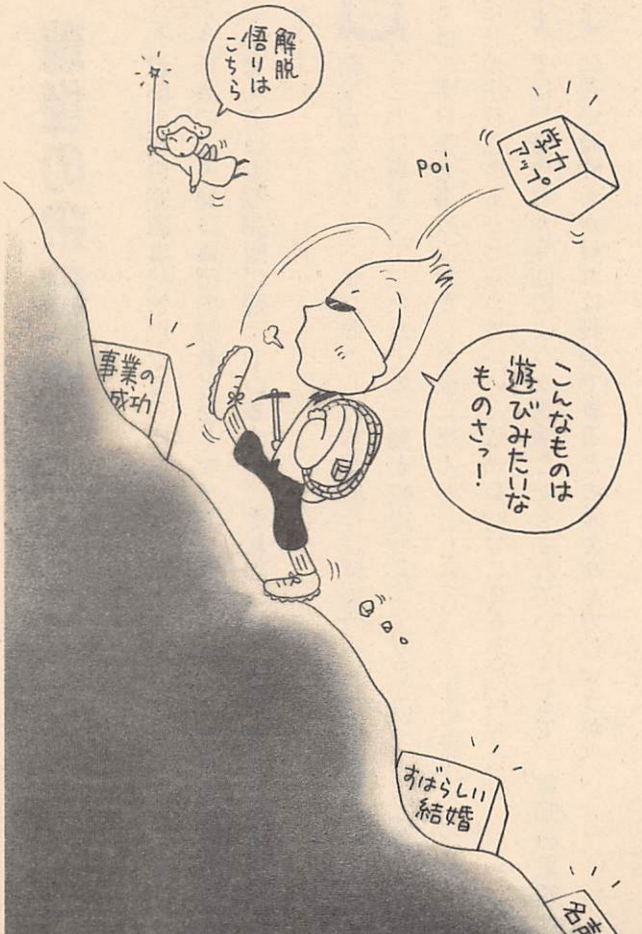


ということは、ある程度現世で成功しなければ、その解脱なり悟りも得られないということですか。



というよりも、それぐらいの徳と知能というものがなければ、解脱・悟りはあり得ないということです。

（九一年六月十四日・名古屋大学）


解脱
悟りは
こちら
学力アップ
poi
こんなものは
遊びみたいな
ものさっ！
事業の成功
すばらしい結婚
名声

尊師の宗教性


尊師も明日交通事故で亡くなられるかもしれませんよね。そうした場合、尊師が死ぬのと一緒に尊師の宗教もなくなってしまうのか、あるいは修行の仕方などに尊師の考え方はもう完璧に残っているのか、それについてのお考えをお聞きしたいのですが。


結論から言うと、まだわたしの本質的な宗教論の一部しか表現されていないということは事実です。ただその一部が表現されているということは事実ですから、例えば、明日交通事故でわたしが仮に死んだとしたら、今まで表現したそのすべてが、わたしの宗教であるととらえていいんじゃないでしょうか。


では、著作とか今回のような講演とかをされていくことで、尊師の思想は、非常に長い時間をかければ表現できるとお考えなんでしょうか。



こういう講演の対象というのは、初めて会う人だよね、ほとんど。だから、そういう意味においてはベースの教えを、その段階では説き明かすことになると。そうではなくて、要するにわたしの宗教性がどこに出るのかというと、例えばモスクワ放送から流れてくる、ちょっと高度な内容とか、あるいは、実際に在家、つまり一般の生活をしながら修行していらっしゃるような信徒の方々に対する講話とか、あるいは、今回数人連れてきているような出家している弟子たちに対する講話とか、段階的な教えがあるわけだけれど、そのどの部分をもってわたしの宗教性かというと、やはり、全体的なものであると。

で、その全体をカバーするためには、やはりこのような講演会も必要だし、それと同時に弟子たちのステージがもっと上がって、今わたしが経験していることのより高い部分を経験したら、当然それよりもう一段階もう二段階高い教えを説かなきゃならなくなるわけだから、そういう意味でいったら、全体的に広がりと高さが生じたときに、初めてわたしの宗教性のすべてが出るというふうに考えていただいたら結構だと思います。

（九二年六月四日・北海道大学）

第2章　これが宇宙の実相だ

宇宙の創造


尊師は、先程魂はいくつかのステージに分類できて、それはとらわれの種類によって分類されるのだとおっしゃいましたが、結局、この宇宙がそういうとらわれによって構成されているのはなぜなのでしょうか。


一言でいうならば、非神秘力（ひしんぴりょく）と。非神秘力というのは何かというと、わたしたちの本質――これは「アートマン」といっているわけだけれども、仏教でもアートマンを使っていますから、アートマンを使わせてもらったわけだけれど――真我（しんが）、つまり「真実の我」がすべてを見通すことなく瞬間的に、仏教でいう貪（とん）・瞋（じん）・癡（ち）、ヨーガでいうところのラジャス、タマス、サットヴァという三つのエネルギー（三グナ）があるわけだけれど、その美しさに翻弄されたがために、そこから落下が始まったということだね。

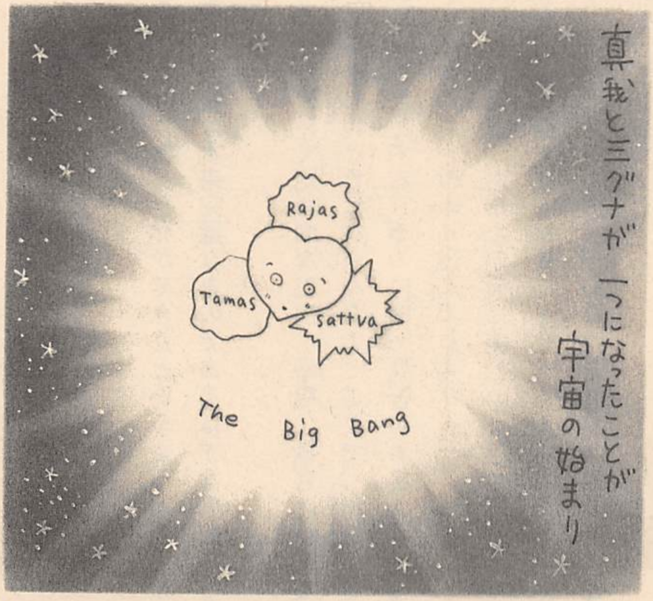

では、そのわたしたちの本質と三つのエネルギーの起源は、たどることはできるんですか。

というか、その段階から二元論が始まるんです。その前は別個の要素が存在して、真我という存在と、それから先程言った、グナとか、あるいは貪・瞋・癡といわれる三つの要素とが別々に存在していたと。

それが一つになったときが宇宙の始まりであるということですか。

そうです。

（九一年十一月二十三日・東京大学）



迷妄



三グナに真我が干渉されて、今、こういう物質世界ができたというようなことが本に書かれてあるんですけれども、真我は本来完璧なものであるはずなのに、なぜ、そういう錯覚を起こしたのでしょうか。



真我の完璧な状態というのは、自己において絶対的な自由・幸福・歓喜の状態なんだよね。しかし、智性において完璧なわけではないんだよ。ここで、相対するものが真我を喜ばせてくれると真我が錯覚したとする。そこには一見苦があるようには見えないと。とすると、当然真我はそれに対して、のめり込んでしまうよね。

例えば、あなたが最も幸せな状態のときにだよ、あなたの前に美しい女性が現われたとしよう。その女性は、あなたの最も幸福な状態よりも幸福にさせてくれるような、錯覚を与えるような女性だったとしよう。そして、その彼女があなたを誘惑したと。あなたは乗りますか、乗りませんか。当然乗ってしまうよね。

わかるね、言っていることは。その瞬間は幸福にしてくれたわけだ、三グナが。美しいし。しかし、その三グナの干渉というものは、次のように考えることができる。

例えば、その美しい女性とおつきあいをする。どうなる、プロセスは。永遠に幸福か。例えば、その彼女に引っかかれるかもしれない。かみつかれるかもしれない。あるいは、けとばされるかもしれない。あるいは、他の男性とつきあうかもしれないね、彼女が。それによって、君は苦を感じるか、感じないか。当然苦を感じるよね。

しかし、その彼女とつきあった瞬間は幸福だと思うでしょ。それが真我の特性なんだよ。

ではだよ、そのすべての経験が終わって、迷妄の闇をぶち抜いて、真我を三グナの干渉から解き放ったとき、君の心はどうなる。例えば、美しい女性が近づいてきた。君はどう考える。



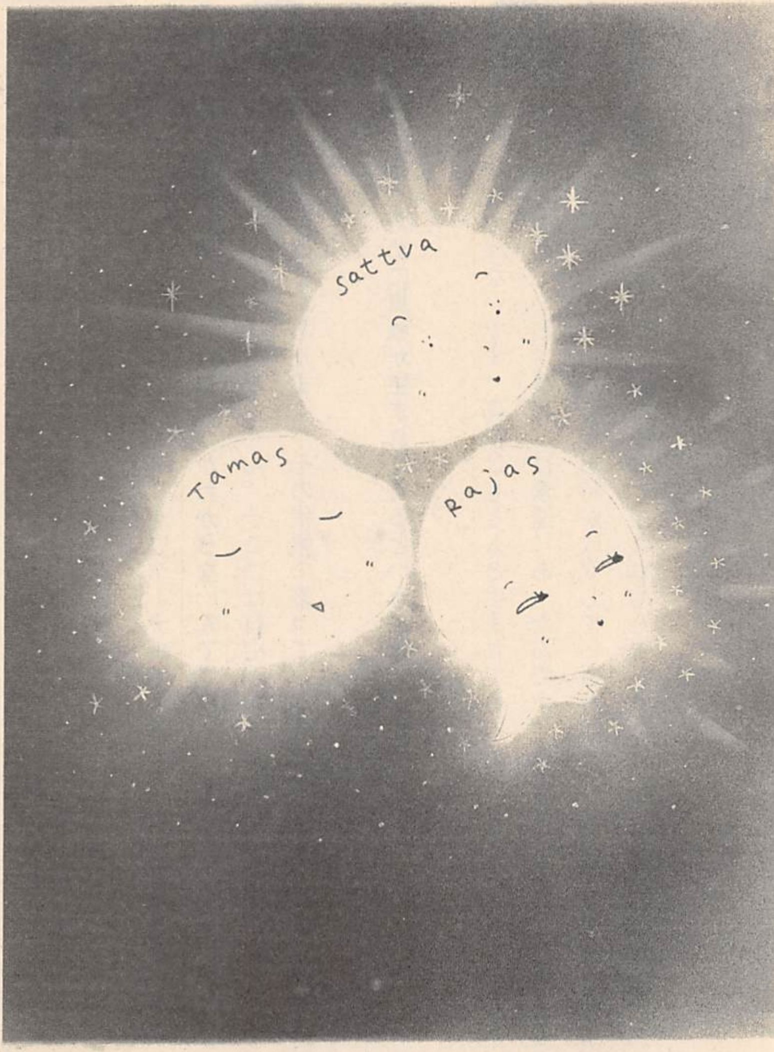
その対象を正確に判断して、その背景にあるものが苦だというのがわかると思います。

そうすると、当然迷妄に入らないよね。だから、三グナに干渉されて迷妄の世界に飛び込んだ真我は、自己の状態としては完璧であったとしても、経験が少し足りなかったんだろうね、きっと。

（八八年十二月三十日・東京本部）






sattva
Tamas
Rajas

真我



真我（しんが）は、何をするためにマハー・ニルヴァーナまで入るのかということと、入ってから真我は何をすべきなのかがわからないんですが。



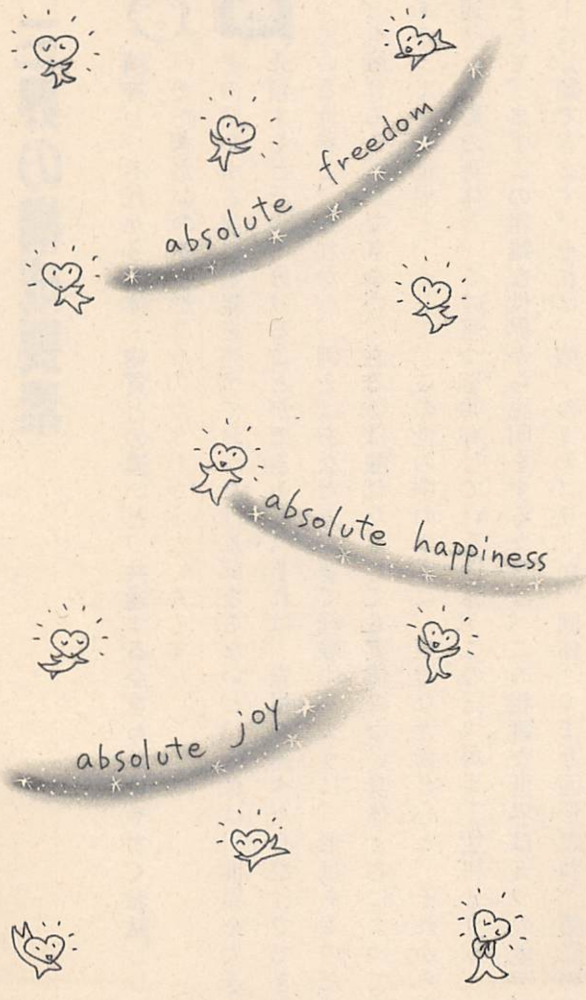
いや、何もすべきじゃありません。そこには自由がありますし、幸福がありますし、それから歓喜があります。その状態で整っているので、何もする必要がないのです。



そこに行くために真我が生まれてくるということですか？



いや、そうではないです。真我はもともと生まれてるんですよ。生まれているという表現もおかしいね。真我とは永遠にあったんです。そして、これからもあるのです。このコーザルの光が生じてから時が成立しているわけで、その時を超える段階に真我はあるのです。真我は、要するに、生まれもしなければ死にもしない状態ですね。



（八七年十月二日・埼玉県秩父市）

三界の構成要素



精神と、それから肉体・物質との違いと、共通する点をわかりやすくお話していただきたいのですが。



その話をする前に定義を述べておかなければならないと。それは、世界を大きく分類すると三つに分けることができると。それは、先程も述べた心だけでできあがっている世界と。それから、例えばあなた方が夢で経験するように、形はあるのだけれども触れることができない、あるいは触れたとしても実体のない身体と心によってできあがっている世界と。そして、この世の中のように、粗雑な元素と心と、それから先程述べた幻影の身体と、この三つを共有している世界。この三つがまず存在します。

そして、まずこの粗雑な世界から説明をするならば、この粗雑な世界は五つのカテゴリーに分類できます。それは、第一のカテゴリーが、固体、つまり固形だね。第二のカテゴリーが液体と。第三のカテゴリーが熱元素と。第四のカテゴリーが、そうだね、風(ふう)、

空気、まあ空気といっても気体成分と考えた方がいいだろう。で、第五のカテゴリーが空間と。この五つの要素によって形成されていると。

例えば人間の肉体を見るならば、骨というものは固体に属するし、例えば血液は、二番目の液体のカテゴリーに属するし、例えば体温を発生させるもの、これは火のカテゴリーに属するし、例えば呼吸は風、気体のカテゴリーに属するし、例えば鼻孔とか口腔とかいわれている空間、これはすべて空のカテゴリーに属すると。

そして、これらの五つの要素と、そして内なる幻影の身体と、心の構成要素――この心の構成要素というのは、感覚を生じさせるものと、それからイメージを生じさせるものと、それから経験によって次の行動を起こさせるものと、そして識別、つまりいろいろと判断を加えさせるものと、この四つが存在していると。

そして、この物質的な元素、この固体、液体、熱元素、そして気体元素、そして空間。これらは、三つの要素から構成されていると。その三つの要素とは何かというと、熱の要素、そして振動の要素、そして光の要素と。この三つから構成されていると。この熱の要素、振動の要素、光の要素、これがすべての物質の根本であるというふうな考え方

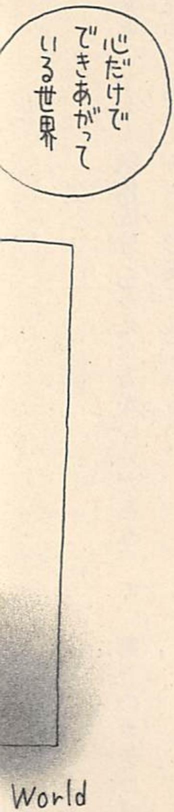
を持っているわけだね。

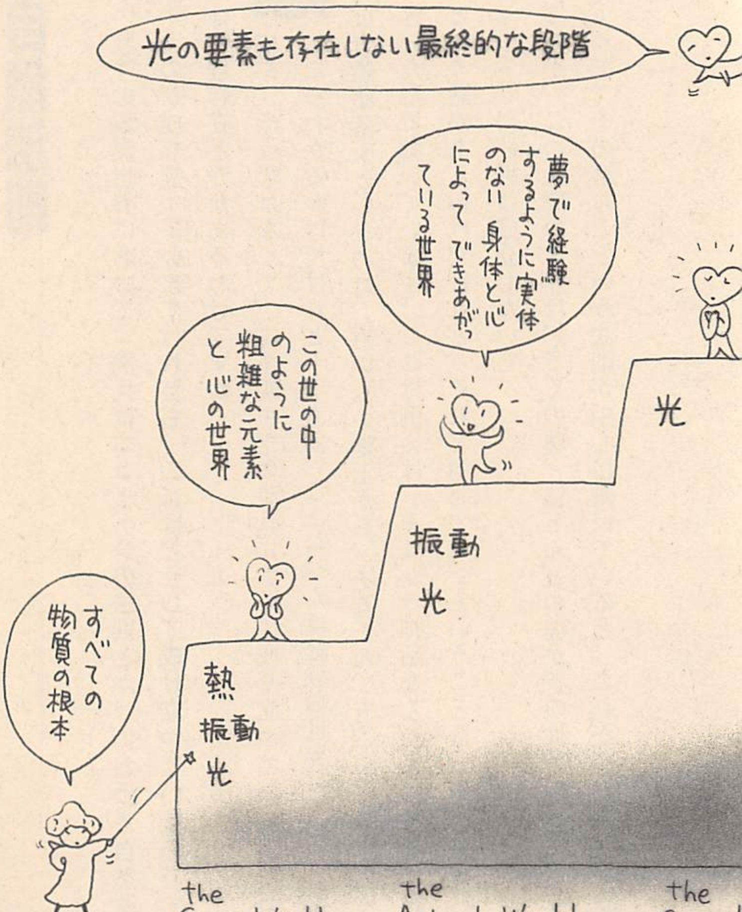
で、その第二の世界、より深い世界に入ると、先程述べた心の構成要素、感覚から識別に至るまでの要素と、それから形状しかない世界に入るわけだけれど、ここでは熱の要素が完全になくなり、そこに存在するのは光の要素と振動の要素によってできあがった形状と、そして心の構成要素しか存在しないということになると。

そして、最も深い世界、最も心の本質に近い世界は、その振動の要素がなくなり、光の要素、この光の要素によって心の構成要素は形成されているわけだけれども、その光の要素のみが存在すると。

そして、最終的な段階では、その光の要素も存在しない状態へ至ると。いいかな。

（九一年十一月三日・東北大学）




光の要素も存在しない最終的な段階
夢で経験するように実体のない身体と心によってできあがっている世界
この世の中のように粗雑な元素と心の世界
すべての物質の根本
光
振動
光
熱
振動
光
the Gross World
the Astral World
the Causal

自然法則



我々の現実世界において、例えばニュートンの法則とか、いわゆる自然法則というのが成り立っていますけれども、これはどうして成り立っているのですか。これには管理存在とかがあるわけですか。



いや、そうではなくて、エネルギーの流れによって成り立っているんだよ。経験したらわかるわけだけれど——まあ、ここらへんは経験の世界になるけれどね——例えば意識堕落天というのは、だいたい地上から、そうだね、五〇センチとか一メーターとか浮いた形で動いています。これは例えば、ギリシャ神話なんかの神も地に足がつかないという話があるわけだけれど、それと同じです。ということは、その世界においてはニュートンの法則は成立しないと。

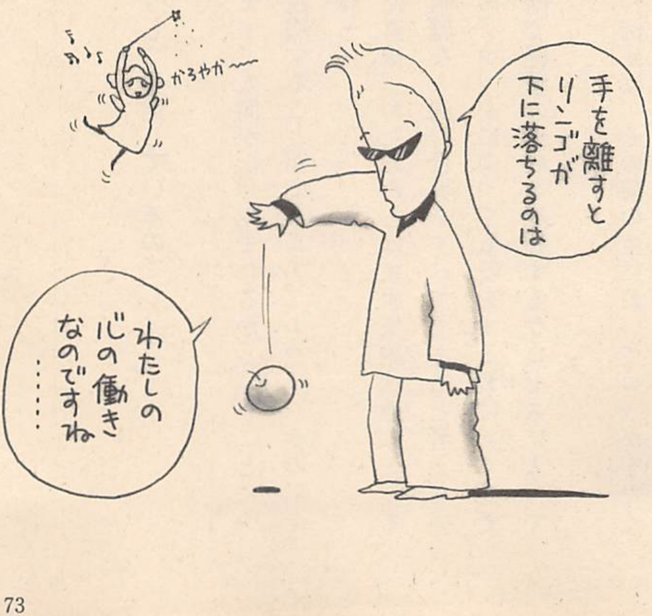
　ところが、この人間の世界は、多くの魂、ほとんどの魂が下の世界へ落ちるわけであって、よって、その落ちるという法則が中心に働いていると。これが仏教的な考え方です。

だから、もし上流、つまり上に向かう魂が多くなれば、その分だけ、当然エネルギーの流れの変化は生じるはずです。

そういった自然法則自体を管理しているような存在というのは存在しないんですか。

それは夜摩天（やまてん）——支配流転双生児天（しはいるてんそうせいじてん）という双子の神様、日本では閻魔大王（えんまだいおう）といわれているわけだけれど——がいらっしゃいます。その魂が管理していると一応いわれているけれども、わたしは、それより心の働きであると考えています。

（九一年十一月二十四日・京都大学）



生のプロセス



どうして僕たちは生まれてきて、こうして生活しているのでしょうか。



大変いい質問だと思うね、それは。まず、人間がなぜ生まれるかということについて十二の条件生起の段階によって説明することができます。よって、その「十二の条件生起の法」についてお話をしましょう。

まず、わたしたちが死というものを迎えた直後、わたしたちはまず気絶状態に入ります。この気絶状態に入るというのは、この粗雑な人間の世界をすべてであると考えている意識がそこから解き放されるときに、そのショックによって気絶をするわけです。そして、その気絶状態に入って、その次の段階で経験の構成を認知するプロセスに入ってくると。

経験の構成を認知するとは何かというと、例えば、その前の生においてロックをたく

さん聴いていたとか、あるいはジャズをたくさん聴いていたとか、あるいは科学の本をたくさん読んでいたとか、あるいは実際に科学の研究をしていたとか、あるいは、例えば食べ物で、信州そばをたくさん食べていたとか、そういう経験の構成が甦ってきます。経験の構成が甦ってきた段階で、次は識別作用が生じます。識別作用というのは、その経験に基づいてどの世界へ行こうかという識別作用が生じます。

そして自分の望む世界はここであるという、そういう識別が生じた段階で、次は先程述べたとおり、形状-容姿と心の働きのみが存在する世界へと至ります。この、心の働きと形状-容姿というのは、要するに触れることのできない身体と、そして心の働きが同時に存在している世界へと移行していくわけだね。

そして、その次の段階で、その心の働きと形状-容姿の六つの器官、これは、目、耳、鼻、口、ね、そして触覚という五つと、それから心の働きの六つが外界と接することにより――というのは、この心の働きと形状-容姿の世界にはたくさんの他の生命体がいますから、外界と接触することにより、そこで感覚が生じてくると。

そして、感覚が生じるがゆえに、次はより強い感覚を得たいと。これは例えば、おい

しいものを食べたら、よりいっそうおいしいものを食べたいとか、あるいはわたしたちが性的快楽に対して縛られているのと同じように、よりいっそう強い渇愛が生じてきます。つまり、欲求が生じてくるわけだね。

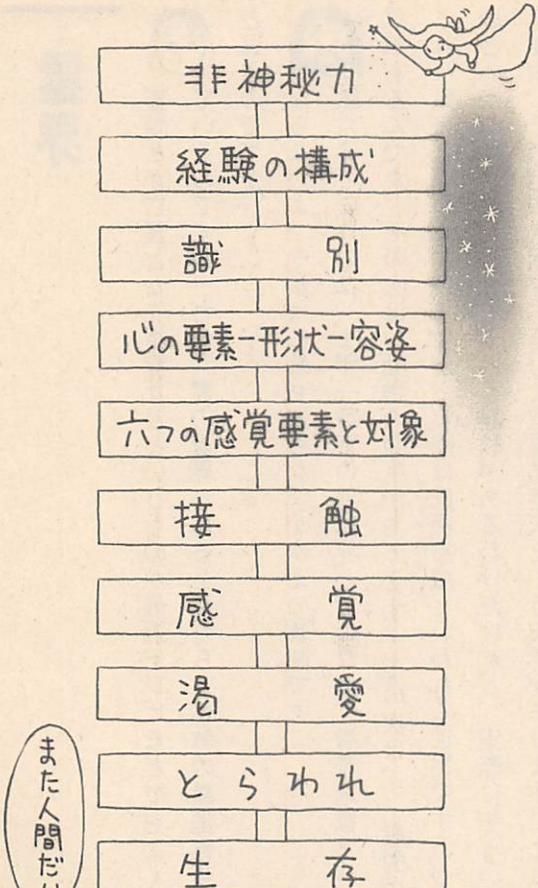
そして、その欲求が生じてきた段階で、その次の段階で、その欲求があるがゆえにとらわれるようになります。例えば、恋愛においてあの人でなきゃダメだとか、この人でなきゃダメだとか、食べ物でも、わたしは例えばカレーが好きなんだけどラーメンは嫌いだとか、このような形のとらわれ、愛著が生じてきます。

で、実はその愛著が生じた瞬間に、それと同時に裏側に、嫌悪、つまり、あの人は嫌いだ、この人は嫌いだといったような感情も生起するわけだけれど、まあそれはいいとして、その相反する感情が生起した次の段階で、それを具体的にもっともっと経験したいという心の働きが働きます。そして、子宮へと至るわけです。子宮へと至った魂は、もう君たちも知ってのとおり、そのまま生存へと至ると。これがわたしたちがこの世に生まれてきた意味合いです。

ですから、この世に生まれてきた意味合いというのは、要するに欲望、煩悩というの

があって、その煩悩によって、生まれてきているんだということになるわけだね。よろしいでしょうか。

（九一年十一月一日・信州大学）



霊界



霊障とか亡霊とか先祖霊などというものが最近テレビなどでもよく取り上げられているのですが、もし、霊の世界があるとしたら、仏教の輪廻転生と矛盾になると思うのですが。



ならないよ。それは仏教を知らないがゆえの質問です。

欲六界というのは、まず一番下の地獄界と。これは、激苦地獄といわれている地獄があるんです。その次は、動物の発生があります。その次は、一般的にはプレータ、これは餓鬼といわれていますが、実際は低級霊域（ていきゅうれいいき）といわれる世界です。つまり、低級霊域というのは、わたしもそういう経験があるわけだけれど、実際にそういう低級霊が見えます。その上が人間界、そして意識堕落天（いしきだらくてん）という天界があります。これは皆さんがよく言っている宇宙人です。その上が戯れ（たわむれ）堕落天（だらくてん）という世界だね。

だから、霊の世界云々というのは、包括概念として存在していることは事実です。た

だ、その人たちが低級霊域をしっかり霊視しているかどうかは別問題であるというふうに理解してください。よろしいでしょうか。

ということは、霊は死んでも転生することはないということですか。

違う違う。霊の世界へ転生するんだよ。で、霊の世界から、まただいたい動物か、地獄か、人間界へ転生するんです。そういう世界であると考えたらいいよ。

霊の世界があるんですか。

霊の世界があると。で、その霊の世界も無常であるから、転生するんだよ。

（九一年十一月四日・気象大学）



認識できる欲六界



「欲六界」ということおっしゃられますけれども、現在我々が実際に知ることができるのは人間界と動物界だけということでよろしいですか。



いや、餓鬼界にも行けます。



でも、我々は動物だったら「あ、犬がいるな」って感じで認識できますけれども、餓鬼というのは……。



餓鬼界というのはね、正確にいうと低級霊域（ていきゅうれいいき）と訳すことができて、例えばめちゃめちゃに疲れたとき金縛りに遭って行く世界、これが低級霊域です。ですから、わたしたちはこの人間界、それから低級霊域、動物の世界、三つを認識できます。



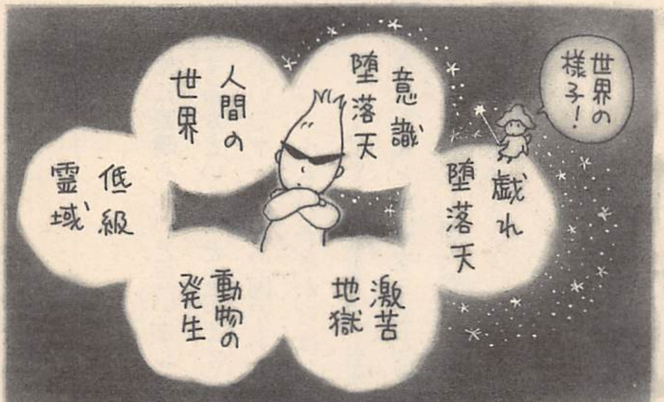
ということは、天界とかそれから地獄界は、我々がいわゆる一般に認識と呼んでいるような状況で現象することはないのですか。

それは難しいね。

では、動物界とか天界とかというのは、真我（しんが）の集合体と認識してよろしいわけですか。

いや、世界の様子というふうに考えてください。例えば地獄の場合は「激苦地獄」というふうに表現されているし、動物の場合は「動物の発生」というふうに表現されているし、餓鬼の場合は「低級霊域」というふうに表現されているし、それから人間の場合は「人間の世界」というふうに表現されているし、それから一つ上の世界は「意識堕（いしきだ）落天（らくてん）」というふうに表現されているし、それからもう一つの上は「戯（たわむ）れ堕落天（だらくてん）」というふうに表現されています。

（九一年十一月二十四日・京都大学）



天界と地獄



尊師の著作の仏教の心の問題を説いた部分などは非常に素晴らしいと思いました。ただ一つ、納得できない部分は、天界や地獄が存在するかということなのですが。



一つ質問していいかな。例えば飢饉によって苦しんでいるアフリカの国があるとしましょう。ここの生き物たちは、つまりこの人たちは、小さいときからほとんど食べることができず、そして死んでいくとしましょう。この人たちの世界は、当然、食べるものすらないわけだから、乗り物その他の現代文明をほとんど理解することはできないと。ところが——まあ一番いいのは、堤さんかもしれないね——個人資産一兆円以上の人がそこにいたとして、その人たちの生活を、アフリカの食べられないで死んでいく子供たちがね、理解できると思いますか。



できないと思います。



だよね。そのアフリカの子供たちの経験と、それから、堤義明氏の経験とには大きな差があるよね。しかし堤義明氏は確かに、善行の結果としてそれだけの大きな財を得たのだろうけれども、それよりもより大きな功徳を積む魂があって、そして心がより清らかな魂があるとしたら、あなたはどう思いますか。堤氏以上の世界を経験すると思いますか、しないと思いますか。



経験するんじゃないかなと思います。



それが仏教的実践なんです。そして、その結果をまず瞑想で体験していくことなんだよね。真理の実践を行なうと、まず夢見が良くなると。夢というのは何かというと、短い時の流れの自分の経験を総和したものであると一般的にはいわれています。例えば、生き物をよく殺す、そして悪いことをなす人たちはほとんど夢を見ることができません。夢を見ることができないというのは、自分の内側にある要素を知っているがゆえに、それを知りたくないと、見たくないという拒絶の意識が働くために夢を見ないんだよ。その時の流れが長くなればどうなるかというと、当然、そういう蓄積の世界へ

と至ると。

例えばだよ、ここに野球の好きな子供がいたとして、自分は将来、とにかく野球が好きだから、野球選手になって生きていくんだと考えたとしよう。するとその子供は一生懸命野球の修習をするだろう。そして中学時代も野球部、高校時代も野球部といった形になると。その子供が、実際問題としてプロ野球で活躍できるかどうかは、その徳によって決まるわけだけれど、もし徳があるとするならば、その子供は当然プロ野球へと至るだろうと。

そしてプロ野球の世界というものは、それと同じようなタイプの魂が集まっているわけだよね。つまり、自分がなしてきた経験の集合体が、その世界を表わすということがいえるわけです。

したがって、この人間よりもより偉大な功徳を積み、善行をなし、そして法則の実践を行ない、寂静の修行を行なっている魂の集合体が神であり、それから逆に、最もひどい言葉や行為や心の実践をなしている者の集合体が、地獄を形成しているというふうに考えたら理解しやすいんじゃないかと思うんだけど、どうかな。それは。

構造として理解できます。

だよね。構造として理解できたら、あなたは賢いと思うんだよ。それを構造として理解できているから。次は、それを瞑想上、体験していけばよろしいと。それは、地獄があるんだよ、あるんだよといって体験するのではなく、心を浄化するような瞑想修行等を行なっていくことによって、その世界は体験できます。例えば、ここにいるマハー・ケイマ最上善逝（さいじょうぜんぜい）とか、ウッパラヴァンナー供養値魂（くようちこん）なども、そのような経験を多く行なっています。もちろんわたしもそうです。

（九二年六月九日・仙台読売ホール）



生まれ変わり


人は死後、あの世の天国とか地獄に行くのでしょうか。


いや、行かないで人間に生まれ変わる魂もいますし、例えば動物へ生まれ変わる魂もいますし、例えば修行することによってそういうものから完全に超越した、高い神々に至ることもあります。


それは、死んですぐに生まれ変わるということですか。


そうです。だいたいまあ、四十九日間と規定されていますけれども。で、これはね、こう考えたらわかるよ。ここに、例えば油の入っているツボがあったとしましょう。これを水の上に置いて叩き割ったと。そしたらどうなるかというと、ツボは下に落ち、ところが油は上に上がるよね。これは、天界に行くパターンです。と

ころが、例えばツボの中に砂が入っていたと。それを叩き割ったら、そのツボも下に落ちるし、当然砂も下に落ちると。これは地獄へ至るパターンです。

何を言いたいのかというと、わたしたちが日々、身の行為について、言葉の働きについて、それから心の働きについて慎重に生きるならば、先程言った油の状態をつくり上げることができると。その場合は天界であると。逆に、怠惰というものを条件として、もしわたしたちが身の行為について悪業をなし、言葉の働きについて悪業をなし、心の働きについて悪業をなしたならば、先程の砂を蓄積することになるから、地獄へ落ちるということです。

（九一年十一月二十三日・東京大学）



水子

例えば、水子のように生まれることさえできずに死んでいった魂というのはどうなるのでしょうか。

そういう魂は、人間としての要素が不完全な状態で子宮に入ったわけだよね。で、前生の殺生のカルマによって殺されるということにより、低級霊域で存在するか、あるいはもう一度人間の身体に生まれ変わるか、あるいは動物へ生まれ変わるか、この三つの要素があると考えていいと思います。

（九一年十一月二十三日・東京大学）




水子の転生
動物
人間

第3章

なぜ〝修行〟なのか

悟り



普通の生活をしながら悟るために必要なこと等を教えていただけたらと思うのですが。



普通の生活をしながら悟る方法、これはあります。しかし普通の生活をしながら解脱をする方法はありません、結論からいうと。

これは、わたしが日本だけではなく、インド、あるいはチベットの亡命政府、スリランカ等を歩いてみて感じたことですけれどもね。普通の生活をしながら解脱する教えは存在していないと。

悟るというのは何かというと、英語的表現を使ったらわかりやすいわけですけれども、リアライゼーション（realization）という言葉を使います。解脱とは、エンライトンメント（enlightenment）、あるいはサルベーション（salvation）といったような言葉を使いますが、この違いは何かというと、悟りとは、要するに内側の本質的納得、これが

悟りです。そして、エンライトンメントというのは、これは内側の身体を脱させる、つまり外側の身体から内側の身体を脱させる、これが解脱です。

悟りのための方法というのは、まず、公式、つまりこの現象界における当たり前といわれている公式をまずしっかりとマスターする。例えば、わたしたちが生まれ、老い、病み、死んでいくとか、あるいは、わたしたちの脳と心臓以外の細胞は約三年間で入れ替わってしまうとかね。例えばこういうものをしっかりと教義的に理解すると、第一段階で。

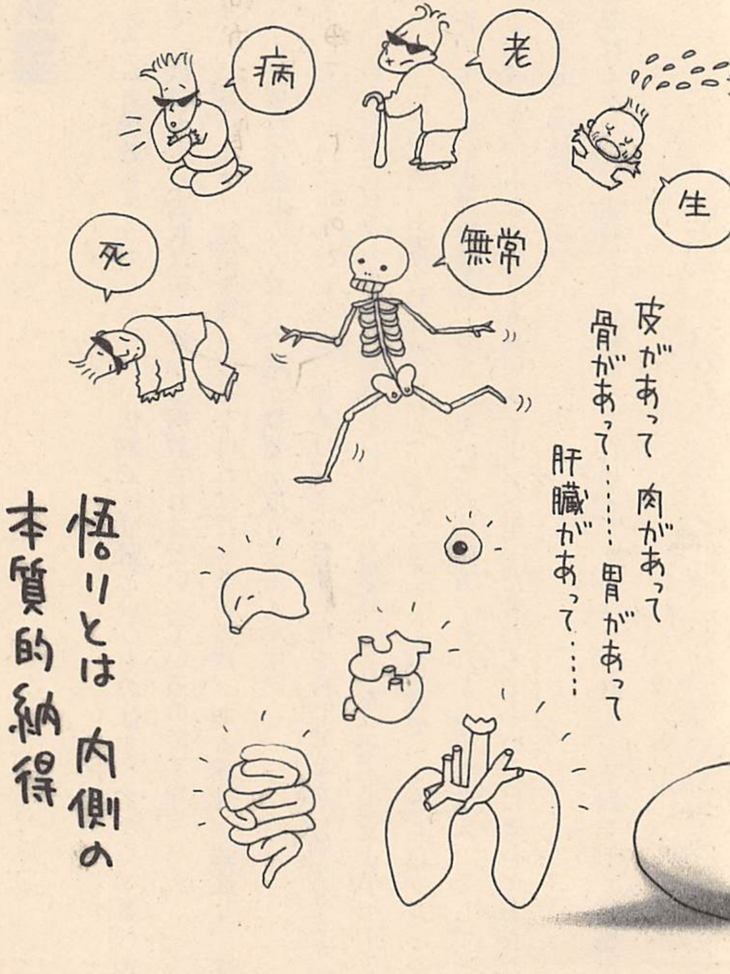
そして、理解した上で現象を淡々と見つめると。これを行なうことによって、わたしたちは何がわたしたちを苦しめ、何がわたしたちを喜ばせ、何が本質で、何が本質でないのかを理解できるようになります。

それからもう一つ、今日は話しませんでしたが、ヨーガ的方法によって悟ることができます。それは、いち早く潜在意識へ入るための方法としての特殊な呼吸法、そして入った段階でその潜在意識を見つめ、それを取り払うための教え、これを使うわけですが、この第一番目の方法でも、第二番目の方法でも、必ず多くの悟りに到達し、そして最終

的にはセルフ、つまり自己を悟ることができます。

（九二年六月六日・神奈川県薬業会館）




生
老
病
無常
死
皮があって　肉があって
骨があって……　胃があって
肝臓があって……
悟りとは　内側の
本質的納得

欲望



オウム真理教もそうでしょうが、仏教では欲望というものはすべてなくするべきで、欲望を取り去れば苦しみから解放されるといっているのですか。



それは違います。欲望を取り去らなければならないのは、ある段階へ到達し、欲望の必要性を感じなくなった魂が欲望を取り去るんです。

つまり、どういうことかというと、初めは三宝に対する信を持つことから始まります。ですから、あなたがこれから何かを達成したいとした場合、それを三宝の力によって――三宝とは、「三つの宝」と書くわけだけれど、それはオウム真理教でいうならばグル・シヴァ大神・すべての真理勝者方、つまりすべての仏陀方。それからその教え。そしてその教えを実践して、あなたよりも高いステージへ至った者たち――の力によってあなたの欲望を完全に満足させると。

例を挙げるならば、素晴らしい結婚をしたいとしましょう。教えを実践をして結婚を

する場合どうなるかというと、当然、お互いがお互いに対して綺麗な言葉を使うとか、お互いがお互いに対して心から尽くすとか、あるいはお互いがお互いに対して自分よりも大切にするぐらいの心を訓練するとかいったような教えがありますから、その教えを実践することによって幸福になるということになるわけです。

そして、その教えの中で段階的に、例えば愛着をしすぎていると死というものを境に苦しまなければならないから、その愛著を取り払う方法とか、例えば四無量心の瞑想とか、そのようなものを伝授され、徐々に徐々に煩悩が弱められ、そして自己を超越する世界へと入っていくわけです。理解できますか。


煩悩は、教えによって、自然とだんだんと弱められていくものであるということですか。


例えばね、あなたが「オレは一日、おいしいものを五回食べたいんだ」と考えたとしましょう。そして、教えによって一日おいしいものが五回食べられるようになったと。これが「十回食べたいんだ」と考えたとしましょう。十回食べられるようになったと。しかし「もうこれ以上は食いたくないよ」と。「こんものはいくら食ったって

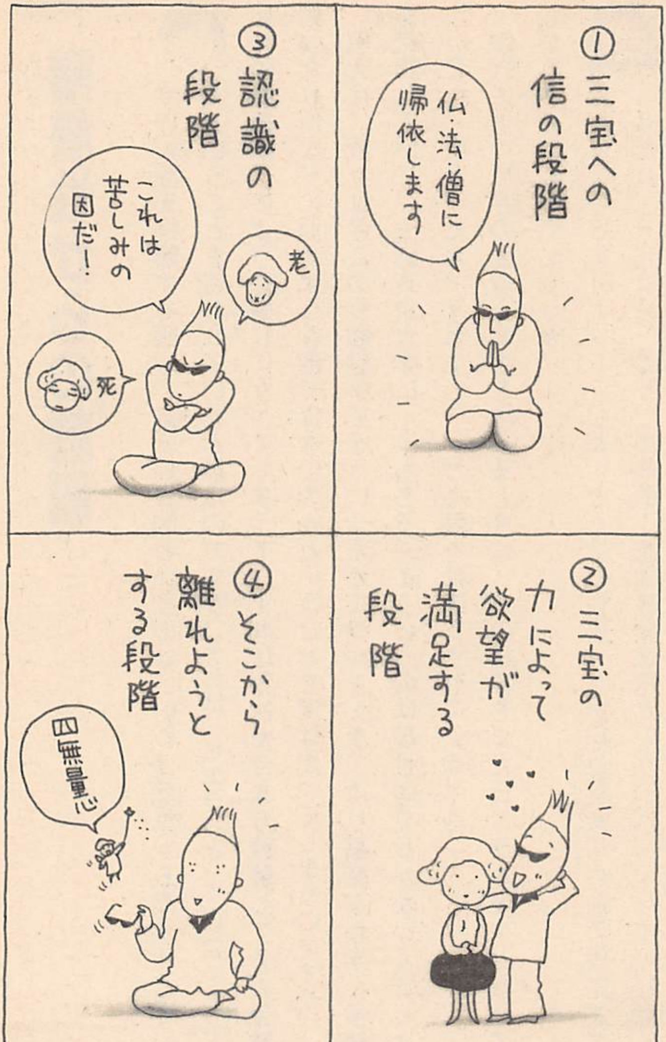
十分満足させられないんだ」という認識が生じたら、次はそこから離れようとするよね。どうかな。そういう段階に入ったときに、欲望は徐々に弱まるということを言っているわけだね。

だから、始めから食べちゃいけないよという制約はしません。段階によって変わってくるということです。


ということは、瞑想をしているときに欲望は取り去るべきものであると無理に考えるわけではないのですね。


そうするとストレスになるよね。だからストレスにならないようないろいろな方法があるんだよ。でなかったらね、ただ単に本を皆さんに読んでもらって「さあこれを実践しましょう」ですむわけだけれど、そうではないよね。なぜ教団があるかというと、その教えの表面的な部分だけではなく、深い部分についての教えがあるんだね、たくさん。そして、信徒はそれを実践することになります。

（九二年六月九日・仙台読売ホール）


①三宝への信の段階
仏・法・僧に帰依します
②三宝の力によって欲望が満足する段階
③認識の段階
これは苦しみの因だ！
老
死
④そこから離れようとする段階
四無量心

階層性からの離脱



今のお話を拝聴する限り、修行の目的というのは、いわば低位から高次化していくということを言われていたと思うのですが、それは、ヒエラルキー（ピラミッド型の階層組織）のような感じになってしまって、それは我々が今まで経験してきた受験勉強なり何なりに似たような形ではないのかということを僕は思ってしまうのですが。

例えば、我々は今この受験戦争でそういったヒエラルキーを、より高度な大学・学問を目指していて、一応東京大学に——もちろんこういうのは現世的でしかないんでしょうけども、受かったと。それでも、いつも我々は満たされていません。

修行によって今の生以上の生を求めるときに、その世界もまたヒエラルキーとなってしまうのではないでしょうか。



確かにそのとおりだ。しかしね、それは先程述べた認知経験滅尽の前の段階までの話だね、それは。つまり、最終的な認知経験滅尽というのは、すべての経験を

完全にクリアにした形、透明にした形になるんだよ。その段階で三界から完全に離脱しますから、だから離解脱という言葉を使っているわけだよね。つまり、君が言っている階層性からの完全なる離脱、それが最終の解脱なんです。

ただ、そこへ到達するためには、一応すべてを経験しなければならないわけだよね、要するに。それはちょうど、例えば、そうだね、もし作曲家になりたいとして、譜面も書けないでは当然作曲家になれないよね。あるいは数学の勉強をする場合、これは数列にしろそうだし、あるいは微積にしろそうだし、あるいは関数にしろそうだけれども、その土台としては、やはり四則計算、つまり足し算、引き算、かけ算、わり算だと思うんだね。こういうものをクリアしていった段階で、徐々に高度な学問に到達していくと。

これと同じで、徐々に高い世界を経験し、最終的には認知経験滅尽、つまりニルヴァーナに到達すると。そのニルヴァーナに到達したときには、すべてを超越しているということなんだよ。理解できるかな。



ということは、最終的な目的というのは、宇宙との合一というようなことを考えてよろしいんでしょうか。

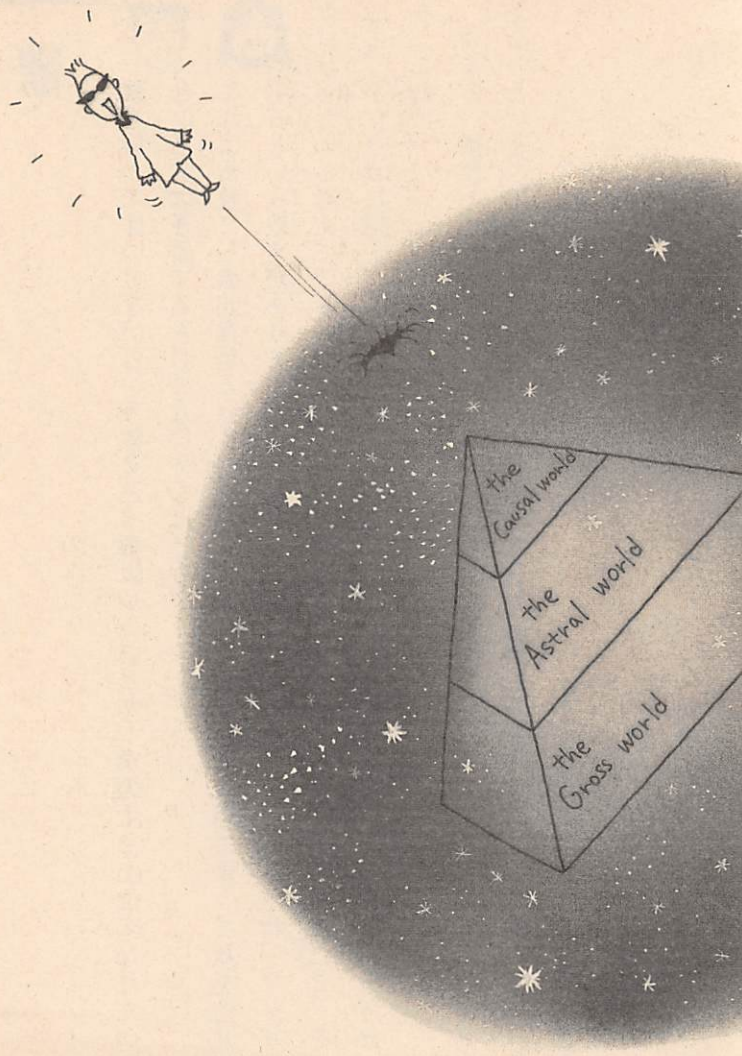


最終的な目的は、宇宙を超越することです。つまり、なぜ、真理というのが神々の世界にまで浸透しているかというと、神々も宇宙の破壊と同時に、その宇宙には存在できなくなるんです。だから、宇宙を超越しない限り、結局本当の意味での自由・幸福・歓喜は得られないんだよ。そこから仏教とか、あるいは真理とかいわれるものは存在しているんです。

（九一年十一月二十三日・東京大学）

宇宙を超越しない限り
本当の自由 幸福 歓喜は 得られない
それが 真理だ！




the Causal world
the Astral world
the Gross world

欲



欲を持ってはいけないという教えと、解脱したいとか、次の生で上位になりたいという欲は矛盾するんじゃないでしょうか。



これは仏教にも欲如意足というのがありまして、つまり欲の船に乗って欲を消滅するという教えがあります。これはどういうことかというと、例えばね、アメリカに行きたいと考えている人がいたとして、飛行機を使ってアメリカまで飛んだと。そして、アメリカに着いてしまったらアメリカに行きたいとは考えないだろうと。どうかな、これは。

つまり、解脱したいと考えている人がいて解脱してしまったら、もう解脱したいと考えないと。ところが、解脱に至るためにはその欲が必要なんだということだね。

（九一年十一月二十四日・京都大学）


煩悩滅尽
欲を滅したい
うんしょ うんしょ
解脱したい
悟りたい
欲の船に乗って 欲を消滅する

運命


日本における最終解脱者が尊師お一人だとすれば、最終的に他の魂の向かうところはどこなのでしょうか。


他の人たちも最終解脱に向かっているんです。それを目的としています。


目的ということは、やっぱり生きているという状態で何らかの努力をしていないといけないわけですよね。


あのね、この宇宙が崩壊するときに、魂が二分化されるんです。これは仏教で説いていることも同じだし、キリスト教で説いていることも同じだし、あるいはユダヤ教で説いていることも同じだし、そうだね、どの宗教も同じことを説いているね。
もちろん、オウム真理教も同じように説いています。
その段階で、まだ未成熟の魂は他の宇宙の地獄へと追いやられ、そうじゃない魂はこ

の宇宙を超えた光音天（こうおんてん）の世界へと至ります。いいかな。



それでは、例えば地球の裏側で不慮の事故によって死んだ人というものは、ただ不運だったんでしょうか。また、不運だとすれば、解脱は運によって左右されるもので、人間性が反映されないんじゃないかというような気がするのですが。



それは簡単だよね。

例えば、ここに種があると。この種の中で、どれかはまかれ、あるいはどれかは日干しにあったとしようじゃないか。でも、種の状態のときは、両方とも成長する、あるいは花となる可能性があったわけでしょ。で、一方は、それが日光によって完全に焦がされてしまい、一方は花として成長すると。これは何かというと条件だよね。条件っていうのは、日本では縁といっているんだよ。日本では条件といわず縁といっているからわからないわけだけれど、そうではなくて、出会うという条件があったんだというふうに考えたらわかる。

そこから考えると、例えば地球の裏側にいた人はわたしと会う条件になかったと。ところが、君は会ったということだよ。



それでは運命論になっちゃわないですか。



いや、運命論ではなくて、その運命をつくり上げているものは、わたしたちの日々の身の行ないであり、心の働きであり、言葉の働きなんです。だから、運命論じゃないんだよ。運命をつくっているのは自分たちだから、そういう固定的な運命論としてとらえないわけだね、仏教は。

（九一年十一月二十四日・東京大学）





神



先程、人間は神になり得る要素があるとおっしゃいましたが、どのような過程で神になれるのでしょうか。



まず、神とそれから人間の違いを検討した場合、それは、俗にいうところの智慧、そして徳の違いということができると思います。

この智慧とは何かというと、要するにわたしたちが持っているポテンシャルとアビリティー、つまり潜在的能力とそれを具体的に発現させることのできる能力と。例えば、相手の本質を見抜くことができたり、あるいは神々と実際に対話できたり、あるいは他人の過去世やあるいは未来世を見抜く力があったり、あるいは他人の煩悩がどのようなものであるかを理解できたり、あるいは未来において何が起きるかを理解できたり、あるいは人が想像もつかないようなことを現象化する、このような智慧と徳を有する魂を、仏教では、あるいはキリスト教では神といっています。

ではなぜ、キリスト教の神がそうなのかというと、聖書を見ていただいたらわかるとおり、例えばモーセが、神に対して大変な帰依をしていると。そうするとその神は、ユダヤ人に対しては、滅びさせることはなく、エジプト人に対しては、例えば、長子、一番上の息子だけが死ぬといったような現象を巻き起こしたり、あるいは飢饉を生じさせたりする。そしてこのような力を持った存在、これをもって神と定義しているわけです。で、人間はそういうことはできるかというと、今の科学は発達していますから、それに近づいていますが、なかなかできないということがいえると思います。

しかし、わたしたちが瞑想修行を続けていくと、智慧、あるいは徳というものは増大します。そして智慧、あるいは徳は増大することによって、わたしたちはそのようなことが可能になってくるのです。


修行をして、死んだ後に神になるんですか。それとも、またさらに輪廻転生を重ねて霊格を上げて、徐々に神に近づいていくという形なんですか。


この人間の生の段階でも、修行を続けていくと徐々に神々としての要素というのは構成されてくるというのが仏教的な考え方です。（九二年六月四日・北海道大学）

カルマの法則



仏教の根本的な考え方として「カルマの法則」がありますね。そのカルマの法則は、例えばある人が意地悪をしたら、条件が整った段階でその人は自分が冷たくした報いを受けるということですね。そういう一般的なレベルでのカルマの法則は非常に理解しやすいんですが、仏教には、もう一歩突っ込んだカルマの法則、つまり、ある人と物理的に接触するだけで、尊師がおっしゃったその人の「経験の構成」が移っていくんだという次元になってくると、僕みたいな凡夫にとっては非常にわかりづらい領域になってくるんです。基本的には深い瞑想体験の中でそれを理解していくしかないのかもしれませんが、ある程度ご説明いただきたいと思うんですけれども。



なぜ仏道修行者が修行するのか、なぜ真理を探求しなきゃならないのかというと、要するに、それは心の本質というものは、すべてを映し出すといわれているからなんです。心の本質がすべてを映し出すとは何かというと、例えば先程おっしゃられた

経験の構成、これが映し出された場合、例えば自分のなした行為が即投影され、そして現象化されるということになると。で、そのスピードが速ければ速いほど、自分のなしたカルマというものはわかりやすくなってくるのです。

ところが、一般的にはそこへ到達するためには、相当な時間がかかると。ただ、それを例えば成就者といわれる修行者にザンゲをしたりすると、その成就者が自分の経験の構成を映し出してくれて、カルマの法則を理解させやすくしてくれるということがあるわけですね。

仏教は教えだけになった段階で衰退すると予言されているのは、仏教の教えは高度であると。そして、その根本となっているカルマの法則というものは、結局クリアな、透明な心の本質――ま、意識でもいいでしょう――意識の状態によってのみ映し出すことができると。しかし、それを映し出すことができなくなれば、その教えというのは滅びるんだというふうに考えていただいたら、質問の答えになるんじゃないかと思うわけです。

ですから、できるだけ多くの人が成就し、そしてその人たちを通してカルマの法則を

投影する。これこそが、最も早くこの世の中を真理によって照らすことのできる早道だと考えています。

（九二年六月十四日・名古屋大学）

成就者は心の本質に到達している





絶対幸福



功徳を積むと幸福になるということですが、これは絶対幸福とは違うのでしょうか。

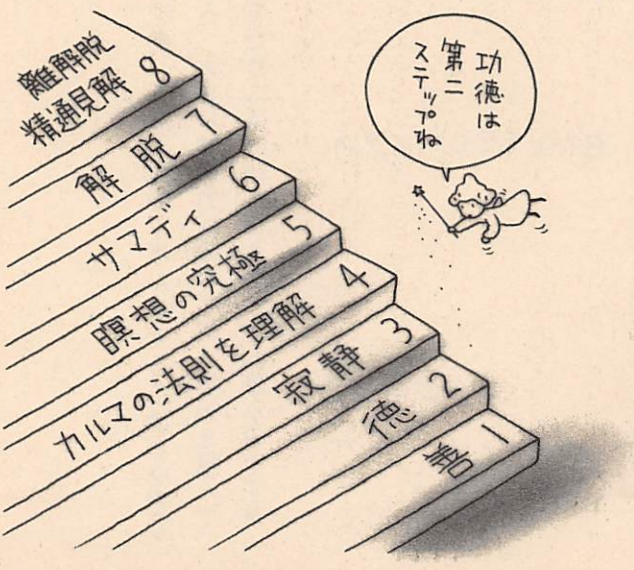


そのとおりだよ。つまり、功徳を積んで得られる幸福というのは、絶対幸福でもなければ絶対自由でもなければ、絶対歓喜でもありません。

　まずわたしたちが第一段階で何ができるかというと、善行を行なうことができるわけだけれども、これはわたしたちの観念上、理解できるからそれができると。第二ステップとして、観念上理解できるようになったならば、徳の実践を行なうことができると。第三段階として、徳まで積んだら次は寂静の修行が理解できるようになってくる心の状態が生じると。第四段階として、そこまでわかると、今度はカルマの法則が理解できるようになってくる段階があると。で、この第四段階がある段階に達すると、瞑想の究極に至ることができると。そこで瞑想の四つの段階の最後のサマディへと入ると。ここで、

人間の身体から別の身体が抜け出して、サマディの経験を行なうことができると。そして最終的に、そのサマディの最終地点に解脱が生じると。で、解脱が生じた段階で、絶対自由・絶対幸福・絶対歓喜の条件が得られると。そして、解脱によってこの現世と、それから解脱した状態との対比の意識が生じてくると。で、それが、離解脱精通見解といわれているわけだけれども、その状態が生じてくると。そこで絶対自由・絶対幸福・絶対歓喜が生じる、ということです。だから、功徳は第二ステップだね。

（九二年六月十四日・名古屋大学）



神通力と解脱


神通力を使うには、功徳を積むことによってある程度エネルギーをためる必要があるということですが、それだったら、あまり神通力は使わずに、功徳を積んで、それをずっとためておいた方が、悟りを得るためにはいいんじゃないかと思うのですが。


いや、そうではなくて、功徳を積んで、法則の実践を行なうことによって、解脱・悟りを得ると。そして解脱・悟りを得る途中のプロセスに神通力が身につくんだと。

で、質問があるんだけれど、例えば目があるとしましょう。で、見るなといっても見えるでしょう。どうかな。

プロセスで　自然と具足していくもの


そのとおりです。

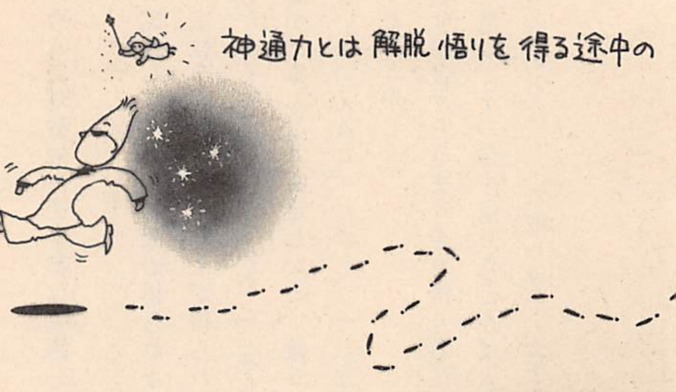

耳があるとして、聞くなといっても聞こえるでしょう。どうかな。


そうです。


神通力とはその程度のものです。結論からいうと。


そうすると、神通力とは、修行の過程で得られるものであって本質ではないということですか。


本質ではないというよりも、自然と具足していくものであるということだね。（九二年六月十四日・名古屋大学）



願望成就



世の中にはいろいろな宗教がありますが、オウム真理教以外の宗教は実践しても意味がないとお考えですか。



これについては、オウム真理教の教えのみを実践しなければ結果が得られないというわけではありません。しかし、例えば、宗教を実践する→結果が得られるというパターンがあったとしてだよ、例えばあなた方がある願望を持っていたと。そして、その願望が成就されたと。それで、その宗教は価値があるんだと断定したと。確かにそれは、あるカテゴリーにおいては、その教えは正しいといえると。しかし、それがこの宇宙の全体系から見て誤っているとしたならばどうだろうかと。

例を挙げるならば、ここにサラ金があると。そのサラ金からうまく金を借りる法がありますといって、その法を実践して、たくさん金を借り、その金を借りたときは大変な喜びを経験することができたと。しかし、そのサラ金からはいずれ取り立てが来るし、

返さなきゃならないということを、もし忘れてしまっているとするならば、未来において大きな不幸が存在すると。

同じように、例えばここにサラ金があると。しかし、そういうものには頓着せずひたすら努力しなさいと。そして、働いて、このような方法が合理的にお金を稼ぐ道ですよという教えがあったと。

この両方とも、お金をあなたに与えることになると思うわけだけれど、前者は未来において不幸を生じさせる因を持ちながら瞬間的幸福を与えると。後者は、未来において不幸をもたらす因を与えないで幸福をもたらすということになるということだよね。

だから、実践してみなさいではなくて、まず教えの全容がどういうものなのかを理解することから、わたしは、宗教というものは始めるべきだと思います。

（九一年十一月二十三日・東京大学）

能力の限界



修行によって、チァクラなどを開発することで、いろんな人間の能力が開花するとおっしゃっていましたが、その能力に限界はあるんでしょうか。



人間が執筆をするスピードがあるとしましょう。例えば、一人の作家が書ける限界っていうのが一日原稿用紙四十枚だとしようじゃないか。ね。ところが、修行によって、例えば、一日原稿用紙三百枚五百枚のものが出せるとしましょう。

しかし、それは粗雑な肉体を使っている以上、例えば口の限界とか――つまり、口を動かすための時間的な限界とか、あるいは手を動かすための時間的限界に制約されることによって、その能力というものは、ある段階で制約を受けることになる。しかし、その本質的な能力については、限界はないと考えていいと思います。

つまり、ソフトの部分については限界がなくて、ハードの部分について限界があるんだということだね。

（九一年十一月一日・信州大学）


人間の能力は ソフトの部分については 限界がなく
ハードの部分については 限界がある
粗雑な肉体ってなんて不自由なのかしら!!

物質的欲望



物質への欲望が、わたし自身は非常に止み難いものがあるわけです。それでも解脱は可能なのでしょうか。



まず、物質的欲望そのものを所有していない魂は存在しないと、第一段階では。特にこのように物質的な宣伝がどんどんなされている以上、それに対しての欲望が増大されるのは当然であると。

そこから、どのような形で物質的欲望を取り払っていくかという作業こそが、宗教的課題の一つの大きな目的であると。そしてその大きな目的である物質的とらわれの超越、それをなしたときに一つの悟りへと到達すると。ですから、初めはどの人でも——これはわたしもそうですけれども——物質的な欲望は当然有していると、しかし、それは修行によって少しずつ少しずつ弱められ、そして完全に超越することができます。

ですから、今あなたの持っていらっしゃる物質的欲望、これがあるから悟れないんだ

とか、解脱できないんだとお考えになる必要はないです。

（九二年六月十四日・名古屋大学）



願望の達成



自己の持っている善業を自由に引き出すためにはどういうふうにしたらよろしいでしょうか。



それは、仏教でいわれているところの思念、要するに一つのことを記憶修習し続けると。

例えば、このような人がいます。これは事業を営んでいる方ですが、一生懸命功徳を積まれると。そして、自己の事業を拡大したいという思念だけをなさると。そして現に数年間で、その事業は、いろいろな角度での拡大をなしたと。しかしその人の意識の中には、その事業を拡大すること以外の意識は存在しないわけです。ですから、その他の現象をわたしから見るならば、あまり良くなっていないが、事業が拡大して経済的な部分だけが増大していると。

同じ例で、全くかなわない恋に対して、その恋をかなえたいといって、ずっと思念を

し続けていた人がいらっしゃると。で、その人はひたすら、やはり功徳を積み続けられたと。そして、やはり同じように四年後にそれを達成しています。

ですから、思念ですね。つまり、自分はこうなりたい、こうなるんだという、強い思念を持たれれば、当然達成はできると思います。



では、思念しても達成できない場合はどうなるんでしょうか。



いや、それは思念が足りないんだと思います。つまり、いろいろな煩悩によって思念の集中が弱いんだと考えるべきです、それは。で、もし、それでも、達成できないとしたら、それは善業の量が少ないと考えるべきだと思います。



善業の量というのは、どのようにしたらわかるんですか。



それはステージによって違います。例えば、わたしたちのレベルになってくると、その善業の量というものは、光の強さとか、あるいはその光の粒の色とか、そのような視覚的なもので測ることができます。

わたしは凡夫なんでわからないんですが、どうしたらいいでしょうか。

それは、日々の生活の中で、喜びと苦しみのどちらが多いかをじっくりと分析してみられたらいかがでしょうか。もし善業が多ければ、喜びが多く苦しみが少ないはずです。もし善業が少なければ、喜びが少なく苦しみが多いはずです。

じゃあわたしは、喜びが少ないですから、悪業が多いということですか。

その場合は、善業優位でなくて、悪業優位だと考えるべきだと思います。

悪業優位から無理やり少ない善業を使ってでも、抜け出すことはできま

願望の達成は善業の量と思念の力



せんか。

要するに、達成したいわけですね、何かを。

はい、そうです。悪業があろうとなかろうと、善業をとにかく引き出したいということです。

そのためには、密儀的な特殊な例えばマントラ、祈り等があります。しかし、それはここでは伝授できません。今日の伝授したブラーマリー・プラーナーヤーマと、オウム瞑想を一生懸命行なわれれば、その可能性は高くなると考えられて結構だと思います。（九二年六月十七日・東京大学）



第4章

公開！解脱の境地

解脱の意義



人間は真理に近づき修行をすると、より優れた生命体になれて、で、もし真理から外れた生活とかをして死ぬと、低い世界に生まれ変わるということをおっしゃってたんですが、やっぱり今の世の中というのは真理どおりに生きるのは非常に難しいと思うんですが、なぜ神様は僕たちにそういう試練を与えたのでしょうか。それから、解脱をしてより高い生命体に上がるということは、どういう意義があるんでしょうか。



それを話す場合、宇宙の創造から話さなければならないわけだけれど、もともとわたしたちは純粋な真我だったんだね。そして三グナと呼ばれている、これは動性（ラジャス）、善性（サットヴァ）、暗性（タマス）という三つのエネルギーが存在していたと。そして、その動性、善性、暗性といわれる三つのエネルギーと真我が干渉し合うことによってこの宇宙が生じたという考え方があるわけだね。

この三つのエネルギーと、それから真我のぶつかり合い、これが生じない真我も存在

していると。そのエネルギーのぶつかり合いによっていろんな経験が始まるわけだけれど、その経験こそが本来真我が持っている、絶対自由・絶対幸福・絶対歓喜という三つの状態を破壊するものであると。だとするならば、そういう三つのエネルギーの干渉がどのような形で起きたにしろ、それに対して全く耐えることのできる真我の状態にしていくことこそが最高の状態であるということだよね。

じゃなぜ、わたしたちがその干渉によって巻き込まれるのかと。例えばだよ、例を挙げよう。ここに性欲の大変強い男性がいたとして、その男性は性欲を満足させるためにどのような女性でもいいからつきあいたいと。で、どのような女性でもいいから寄っていってつきあうことになったと。次に、あまり性欲は強くないけれど性欲を持っている男性がいたとした場合、その人は好みの女性が近づいてきたら、当然つきあうだろうと。次に、全く性欲がない男性がいたとした場合、いかなる女性が寄ってきてもおつきあいしないだろうと。

これと同じように、大いなる経験をさせることによって、いっさいのエネルギーの干渉を完全に遮断してしまうと。これがもともとの意味合いなんだよ。理解できるかな。

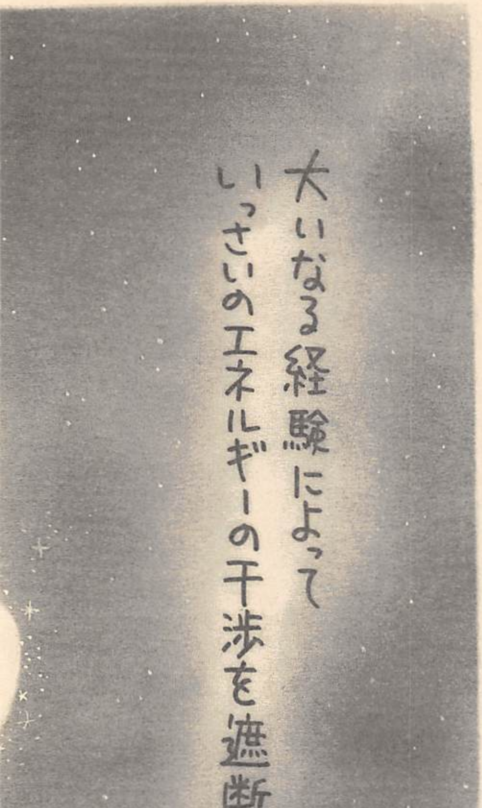


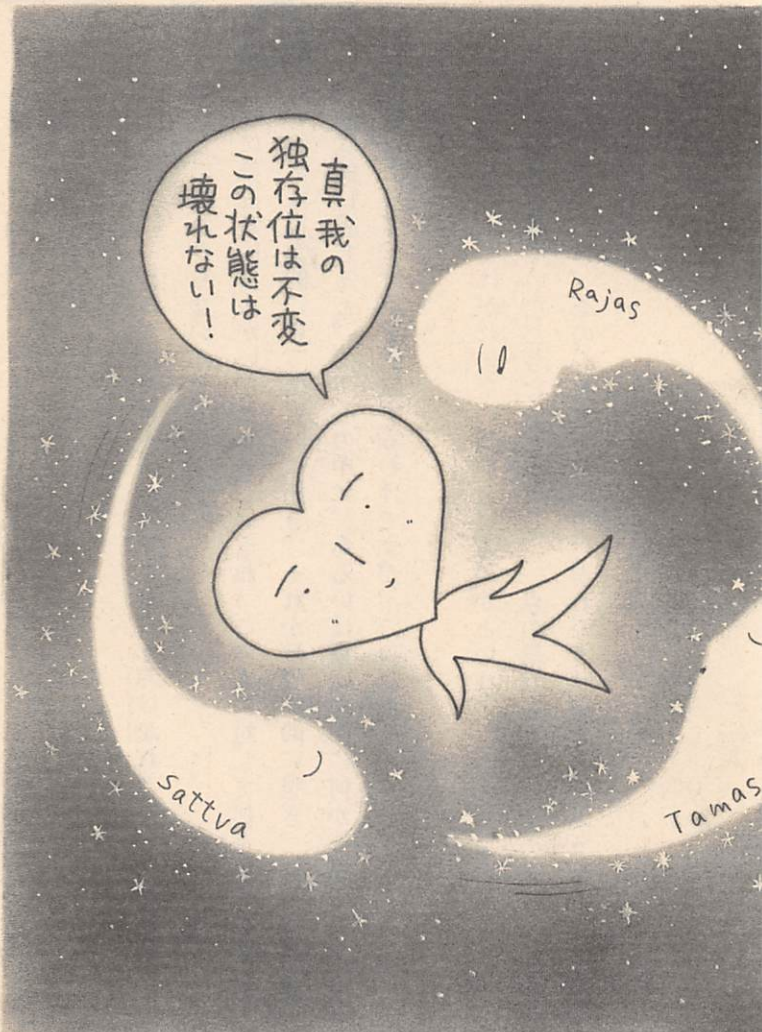
より高いところに上がれるというのはわかったんですけども……。



より高いではなくて、真我の独存位というのは不変なんです。つまり、より高くもなければ、低くもなければ、要するにその中に絶対的な自由・幸福・歓喜が内在されていると。その状態は壊れないということなんだよ。

（九一年十一月二十四日・京都大学）




真我の
独存位は不変
この状態は
壊れない！
Rajas
Sattva
Tamas

けがれ


先程〝けがれ〟とおっしゃっていたのですが、そのけがれとはいったい何なのか、わたしにはわからないんですが。


ここに第三者的な人がいたとしましょうね。この人に対して何を思うのかというと、例えば視覚的に見、聴覚的に聞き、それから嗅覚的に嗅ぎ、そして味覚的に味わい、触覚的に感じると。で、心の中に、あるいは意識の中に何かを思うと。これらの相互作用によって、対象を認識するわけですが、この認識そのものをけがれといっているわけです。

じゃあ、何をもってけがれのない状態とするのかというと、この対象に対して真に自由・幸福・歓喜を得ていただきたいと思う心、一点の曇りもなく、そのような心が生じる状態を形成したとき、その心をもって心のけがれなき状態というふうにわたしたちは言っているわけです。

それは、『般若心経』でいう色（しき）ということですか。

『般若心経』では、六処（りくしょ）、つまり眼・耳・鼻・口それから触覚・意識というのは空（くう）であると説いています。空であるとは何かというと、実体がないと。実体がないとはどういうことかというと、今までの情報によってそれを判断しているだけであって、それ以外の何ものでもないんだよというのがその意味合いなわけです。そこからもう一歩進めて、空は空でOKなんだけれど、その空というゼロの状態ではなく、プラスの状態をいい状態であるとわたしたちはいっているわけです。つまり、その対象の本当の成長を願う心というか。しかもそれは見返りを求めない心、その状態をもって、〝心のけがれなき状態〟といっているわけです。

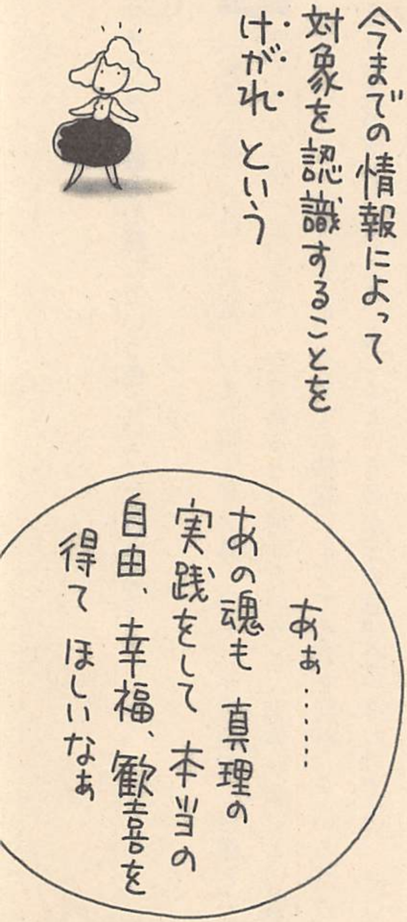
〝色即〟の即はイコールの空で、「空即是色」の即はイコールとはまた違うということですか。

「色即是空」はOKです。「空即是色」もOKです、これは。しかしそれは修行の途中の段階であると。それは、オウム真理教ではマハー・ムドラー、つまり心の

静止の状態を体験するわけですが、そこをもって「色即是空、空即是色」という言葉としているわけです。

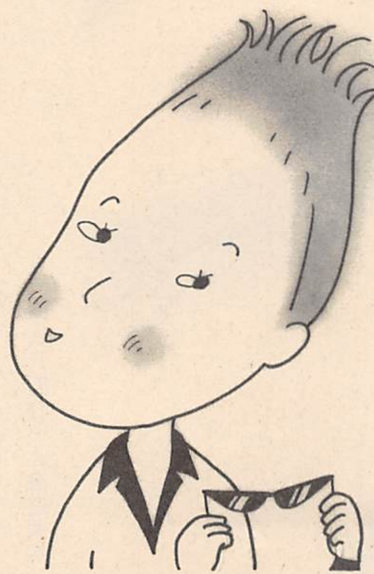
そこからは逆に空に綺麗な色づけをすると。その色づけとは何かというと、すべての衆生の本当に幸福、発展を願うということを求めるための、俗にいうところの大乗の種子を植えつけていくわけです。その成長過程をもって、心のけがれなき、ボーディサットヴァ、到達真智運命魂の状態というふうに説いているわけです。

（九二年六月七日・新東京本部）





すべての衆生の
真の幸福、発展を願う心こそ
けがれのない状態



広がりある意識



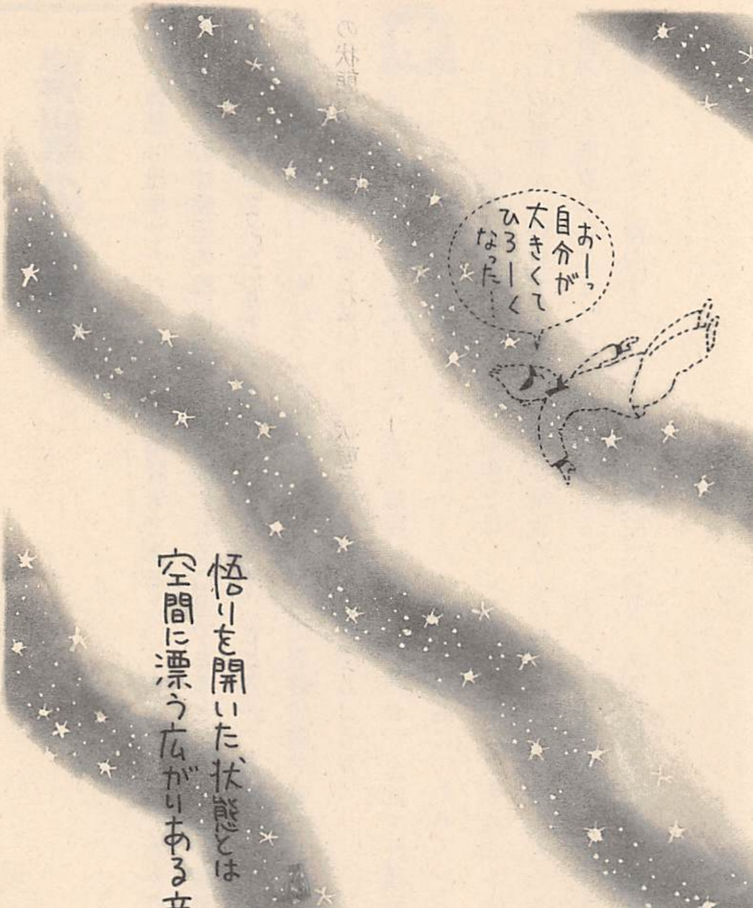
悟りを開いた状態を実際に体験した人は、どんなふうに感じるのかを、短い言葉で結構ですから、お話しいただけるでしょうか。



空間に漂う広がりある意識という言葉で理解していただけるかな? つまり、わたしたちの意識というのは、一般的には固定されているわけだけれども、その固定の状態がいっさい外された意識の状態であるというふうに考えてください。

（九二年六月四日・北海道大学）




おーっ自分が大きくてひろーくなった
悟りを開いた状態とは
空間に漂う広がりある意識

解脱の段階



尊師は日本でただ一人の最終解脱者であるということですが、わたしは、解脱というのは輪廻の輪の鎖から解き放たれることであると、つまり、解脱は一つであるというふうにこれまで思ってきたわけなんです。ところが、最終解脱とおっしゃるからには、解脱といってもいろんな段階があって、その最終段階であるということだと思うんですけれども、それはいったいどういう境地なんでしょうか。



境地ということを説く前に、まず解脱には、そうだね、全部で九段階の解脱があるとか、八段階の解脱があるとかいうふうに、一般的にいわれています。

で、この九段階の解脱、八段階の解脱とは、これはどういうことなのかというと、一つ一つの世界から離脱することイコール解脱なんだね。例えば、わたしたちがこの粗雑な世界から離脱することイコール解脱であるし、あるいは先程述べたアストラル、つまり微細な世界から離脱することイコール解脱であり、あるいは空間から離脱することイ

コール解脱であり、あるいは識別から離脱することイコール解脱であり、あるいは無の境地から離脱することイコール解脱であり、あるいは認知から離脱することイコール解脱であると。

そして、最終の解脱というのは認知経験滅尽といわれている状態であると。認知経験滅尽とは何かというと、過去における経験の因を受けないということなんだよ。つまり、ある行為をなしたと。例えば、飲み物があって、その飲み物が大変おいしかったと。おいしいから、次にまたその飲み物を飲みたいという心の働きが生じてこないと。一回一回新鮮な状態で動きが生じるということなんだよね。


そうしますと、例えば、現代の日本の人々がオウム真理教に入って解脱を求めるとするならば、どの段階まで行けるんでしょう。


それはその人の機根によります。最終の段階まで行ける人もたくさんいると思いますよ。

（九一年十一月二十四日・京都大学）

最終地点

仮に最後のステージまでたどり着いたとして、その人はどうしなければならないのでしょうか。

二つ道があって、一つはそこから大完全煩悩破壊（だいかんぜんぼんのうはかい）といって、この世界から離脱して、もう二度とこの世界に帰ってこないという生き方と、もう一つはそうじゃなくて、肉体を所有して多くの人のために真理の法を説き明かすためにできるだけ長くとどまって、輪廻を繰り返すというか、生まれ変わるという二つの生き方があります。

尊師はどちらを採られているのですか。

わたしは後者です。

（九一年十一月二十三日・東京大学）


最終地点からの二つの道
もう二度と帰らない
救済のためにまたバックする
愛欲界

最終解脱



尊師は最終解脱をされているということですが、自分としては、解脱に最終段階があることが信じ難いんです。解脱より上のレベルのものはもう何もないんでしょうか。



いえ、正確な言い方をするならば、解脱の上は存在します。これはどういうことかというと、まず、解脱によって真我（しんが）とそれからグナ、あるいは真我とわたしたちの経験しているものの構成との分離が完全に起きますが、その状態で生存し、そして魂の救済を続けると、もともと自分の持っていた要素のグナではなく、他人の要素のグナの干渉を受けます。で、瞬間的に解脱した意識状態が、そこで崩れ去ることがあります。そしてそれを、またぬぐい去る作業が繰り返し繰り返し、続けられると。

ですから、最終解脱をしたとしても、もしそのときに、すべての現象を捨断し、そして、孤立の状態、独存の状態に入らなければ、それは最終の段階であって最終の段階で

ないということができるわけです。

それはちょうど、どういうことかというと、鏡にいろいろな色が塗られていたとして、その色をいったんふき、完全に払った状態であると。しかし、それは現実の生活において、特に救済活動の、例えばエンパワーメント等の行為を行なうと瞬間的に色がつきます。で、その瞬間的に色がついたものを瞬間的に払い続けるということが大乗の修行になるわけですが、その大乗の修行の終焉（しゅうえん）によってのみ、最終の確定した状態での解脱ということができるといえるでしょう。

（九二年六月十七日・東京大学）



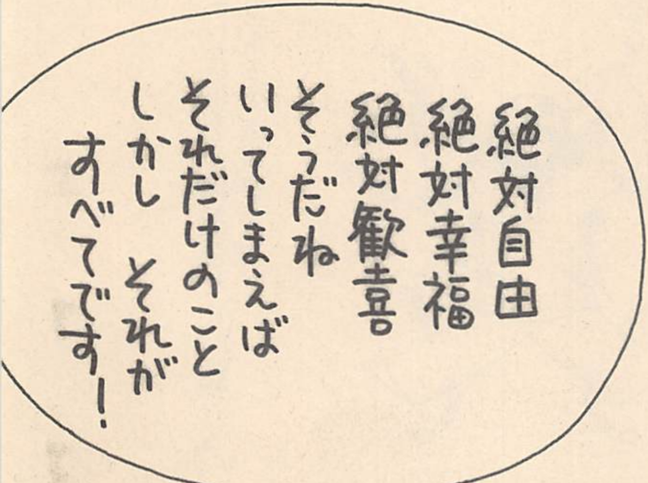
絶対自由・絶対幸福・絶対歓喜

低俗的な言い方かもしれないけれど、最終解脱に至って、幸せなんでしょうか、今。

絶対的な自由・幸福・歓喜というのはあるよね。

それが自分にとって何なのか、そういうのはどうお考えでしょうか。

自分というものを止滅しているからね。まあ、それに対して、一元と二元とは違うわけだよ。つまり、思考する段階というのは二元だから思考できるわけでしょ。対象



があって、その対象に対していろんなデータを当てはめて分析すると。わかるよね、これは。ところが、それがもう全部終わってしまった段階というのは、一元だから、それについて表現はできないんだよ。ただ、絶対自由・絶対幸福・絶対歓喜という状態を表現することはできるということです。



言ってしまえばそれだけのことですか。



そうだね。言ってしまえばそれだけのこと。しかし、その三つがすべてだとわたしは考えている。それは君もそこへ到達したらそうなります。

（九一年十一月二十四日・京都大学）



絶対と相対



先程、絶対幸福とか絶対自由とか、絶対とかいう言葉を使われておられたんですが、絶対というのは相対とどう違うのでしょうか。



絶対自由・絶対幸福・絶対歓喜の絶対という言葉と、それから相対の違いは、まず相対というのは外的情報によって与えられる幸福・自由・歓喜であると。これはおわかりでしょうか。

例えば、恋をして幸せであると。例えば、そうですね、おいしいものを食べて大変満足できるとか。あるいは、例えば忙しい試験等から解放されて自由な時間が使えるようになって自由を感じると。つまり何を言いたいかというと、不自由に立脚した自由であるとか、あるいは、不幸に立脚した幸福であるとか、あるいは不快に立脚した歓喜であるということがいえると思うんですね、相対というのは。

ところが絶対というのは、それらの情報から完全に解き放された状態に生じる、意識

よりももっともっと深い、高い精神的状態であるというふうに考えていただいたら、よく理解できると思います。

つまり情報によらないがゆえに変化がないと。変化がないがゆえに絶対という言葉が使えるわけです。

（九二年六月十四日・名古屋大学）



尊師の来世



尊師もこの世に肉体がある以上は、いつかはその肉体も滅ぶときが来ると思うんですけれども、そうすると、その後、尊師の魂はどうなるんでしょうか。



経典からいくならば、俗にいうところの創造主の世界へ行くことになっているけれども、しかし、わたしとしては人間の世界へ行くのか、あるいは第一天界へ行くのか――つまり、そうだね、龍とか、あるいはガンダッバとか、いろいろあるわけだけれど――そういう世界に行くのか、まだ決めていないと。



え、尊師が決められるわけですか。



もちろん、わたしが決めます。というか、最終の解脱というのは、決める権利があるんです。というのはなぜかというと、つまり、例えばね、そうだね、ここに一から百までのカードを持っている人と、一しか持ってない人との違いなんだよ。その

一から百までのどのカードを選ぶかというのは、持っていれば選ぶことができるよね。持っていなければ選ぶことはできないよね。ところが、一般の人はそのカードを一つしか持ってないんだ。つまり、今生で人間としての業が完全に切れた段階で、それまで経験してきたものが次の生を形成するんです。

（九一年十一月二十四日・京都大学）



救済者


尊師の本を読ませていただきまして、すごく気になることがあったんです。それは、尊師は前世で解脱なさったというのに、今回も解脱なさるまでに同じように苦労を重ねられたということです。そのようなことを、なぜ繰り返すんでしょうか？　そして、また今回解脱したとしても、この次に来世で解脱するのにはいろいろな修行の苦しみとか、そういった体験をしなくてはいけないんでしょうか？


それは二つの道があって、その選択次第だと思いますね。わたしのような救済者は、生まれ変わって肉体を持つときに完全に封印をされてしまうのです。そういう意味で、来世でもまた解脱しなければならない。しかし、そうではなくてニルヴァーナに入る方、あるいはマハー・ニルヴァーナに入る方はそのまま一直線に高い世界へ上がることができます。それは選択です。

尊師は入らないで……。

わたしはまた人間界に救済者として降ります。わたしの修行の背景にあるものは、「すべての徳は、シヴァ大神に供養として受けとっていただけたらありがたい」という気持ちです。反対に「すべての悪業、すべての苦しみというものは自己が引き受けたい」と。そして、すべての苦悩、すべての悪業というものをわたしが背負うとした場合、当然、わたしは人間界へ何回も何回も生まれ変わらなければなりません。

（八七年十月二日・埼玉県秩父市）





第5章

教えて！不思議現象

オカルトブーム



最近、特に十代とか二十代とかの若者の間で、いわゆるオカルティズムであるとか、あるいは霊的な現象だとか、不思議なものに対するブームのようなものがあって——例えば、占いとかおまじないの専門の雑誌なんかはヘタな少女マンガの雑誌なんかよりよっぽど部数が出ているという状態があるわけですが、このような、いってみれば興味本位の霊的世界に対するブームについてはどう思われますか。



興味がないより、まず興味があった方がいいと。そして、その興味もできるだけ崇高な興味へと移行できるような、普段からのフィードバック、つまり、思索のフィードバックを繰り返していただきたいというのが今のわたしの考え方です。



ただ単にそういう世界に対して実利的なものを求めたりとか、あるいは迷ったときに占いの先生のところに行ったりとか、そういう形も別に構わないということですか。


構わないというよりも、仏教的教えでいうならば、低級霊域（ていきゅうれいいき）——まあ皆さんのよく知っている餓鬼の世界といわれるわけですが——餓鬼の世界へ転生する種子を繰り返し繰り返し記憶しているというふうにとらえていただいたらいいと思います。

今の言葉ではちょっと理解できないだろうから少し付け加えるならば、この低級霊域というのは、わたしたちが霊的なものを煩悩の単純な修習によって使った場合に行く世界であるというふうに考えてください。


このようなブーム自体に対して、その原因とか、あるいはその影響とか、そういったものについて、どのような見解を持たれていますか。


それは、この現実の粗雑な世界と、それからアストラル世界、つまり霊的世界とが近づいてきているというふうに考えています。したがって、次における破局というのは、オカルティックな破局が起きるんじゃないかというのがわたしの見解です。

（九二年六月四日・北海道大学）

チャネリング

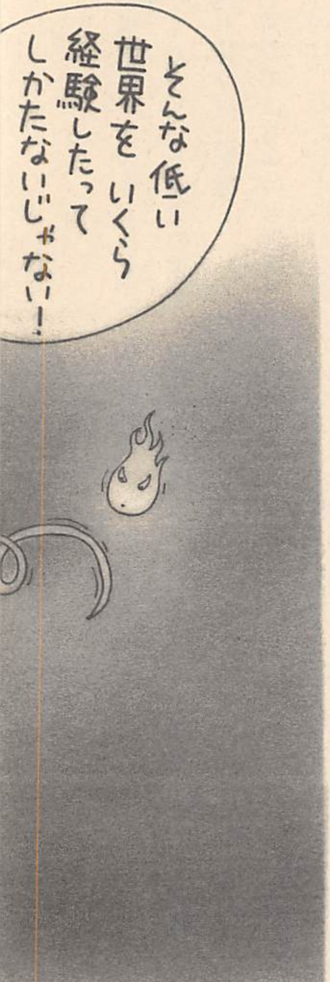


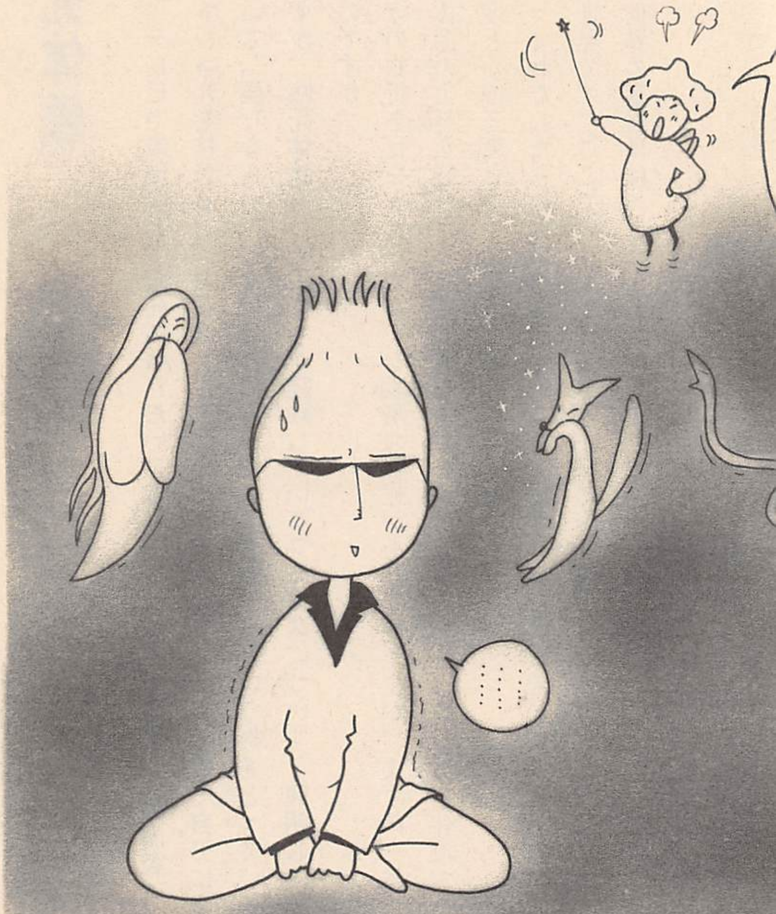
最近、チャネリングなどの霊的なものが流行っていますが、そのような瞑想の仕方をどう思われますか。



意識の中の下から三つ目の低級霊域（ていきゅうれいいき）と呼ばれる世界がありますが、これを散策する上では大きな利益があるのではないかと考えています。しかし、全体的な意識の構成を経験するには、あまりにも貧弱すぎる教えであるというのがわたしの認識です。

（九二年六月十七日・東京大学）





臨死体験


最近、テレビや雑誌などで臨死体験がだいぶ取り上げられています。その内容は、黒いトンネルを抜けると、お花畑とか三途（さんず）の川があったりして、そこで自分に身近な人にがいて「戻りなさい」とか言われて戻ったら生き返ったという形をとっているようなのですが、臨死体験をした人たちが経験しているプロセスについて、説明していただきたいのですが。


ヨーガの修行を行なうと、いろんな段階の状態があるわけですが、まず第一番目に、体温の上昇を経験すると。これは皆さんが考えているような、低い体温ではなく、四二度とか四三度といったような高い体温を経験します。

これによってわたしたちの肉体の元素がどんどん変わり、そしてその次に現われてくるのが夢の世界です。ここでいう夢とは皆さんが見ている夢とは違い、もっとリアルで、そしてその世界の意識ははっきりとしています。

そして、その次に現われるものはバルドーの世界、つまり、わたしたちが輪廻するときの世界が現われてきます。ここで、あなたのおっしゃるとおり、まず黒いトンネルが象徴的に現われてきます。この黒いトンネルとは何かというと、わたしたちの意識がわたしたちの肉体から抜け出すときの状態です。そして、意識が肉体から抜け出し、訓練がされていないとそこから帰ってこれないと。帰ってこれないがゆえに、それを死という形で表わしていると。しかし、もしまだ生命があり、生き続けなければならないカルマが存在するとするならば、そこで、「帰りなさい」という霊的存在によってこの肉体に戻されるわけです。

（九二年六月九日・仙台読売ホール）



意識



よく酔っぱらうと意識がなくなる人がいます。例えば、自分がどんなことを話したか覚えてないとか、どうやってうちに帰ったか覚えてないとかいうことですが、それはどういうことなのでしょうか。



人間の意識の層は、大きく分けて三層に分けることができます。それは、表層意識、それから潜在意識、超潜在意識といわれるものです。そして、わたしたちが通常〝わたしである〟と考えているものは表層意識であるわけだが、しかし本当にわたしたちを動かしてるもの、例えば衝動的行為等は表層意識ではなく潜在意識の影響を受けています。

そして酔っぱらっているときには、この潜在意識が活動を始めるのです。また、わたしたちが生まれ変わりをするときの中間状態に入った場合、つまり死から次の生へ至るときの状態、このときにも潜在意識が働きます。つまり、酔っぱらっているときと、転

生を繰り返すときの意識というのは、大変似ているということになる。

今の質問の中で、一つ面白いポイントがあるので、それについて少し説明をしたい。それは、例えば全く意識していないで家に帰る、あるいは酔っぱらった後にいろいろしゃべるという人がいるわけだが、この人は明らかに他から見れば生きているわけだし、そしてしっかりと活動しているわけである。

これと同じように、わたしたちの死後も同じ現象が起きると。つまり、表層意識の止滅の後、潜在意識へと移行し、そして死から生へのプロセスのときに、はっきりとした意識状態に到達するわけである。

ところで、ここで一つ付加しておかなければならないことは、この表層意識が止滅し、潜在意識に入ったとき――それは酔っぱらったときにもそうだが――その状態というものは、その人が瞑想によって潜在意識に自由に入ることができるようになっているならば、はっきりと覚えているものです。

（九一年十一月三日・東北大学）

因縁



守護霊というのは先祖の霊だというふうに本に書いてあるんですが、本当でしょうか。



そういうことはあり得ない。よろしいですか。俗にいうところの、先祖の悪い因縁によって家系がおかしくなるということはあり得ますよ。その悪いエネルギーによってね。つまり、どういうことかというと、例えば先祖が殺生ばかりしていたとしましょう。そうするとそこは、殺生界とつながる磁場ができている。ね。そうすると、例えばそこで生まれ育った子供たちも当然、怪我をしたりとか、悪いことが連発して起こるでしょう。その人が亡くなってもだよ。それはなぜかというと、その親の子供として生まれたわけだから、その条件をしょってるわけだね。ところが子供がきちんとその自己のカルマを消滅したならば、あるいはこの磁場を変化させたならば、それは消えてしまいます。だから、まず守護霊が先祖であることは百パーセントあり得ない。



（八八年一月十七日・福岡支部）

守護神


守護神、指導霊というものについて、この機会にぜひお聞かせ願いたいのですが。


解脱へと至るまでの過程で、だいたい二人から三人の守護神がつきます。それはどういうことかというと、まずその人が欲界レベルの、ね、だいたい第二天界に至るまでの守護神がつく、まずはね。功徳のある人ですよ、これはあくまでも。

そして、それを乗り越えるときに、その第二天界まで応援した守護神は、必ず今度は足を引っ張ります。よろしいですか。それはそうだよ、だって自分は第二天界までしか行けないんだもん。自分が守護していたのが、どんどんステージ上がっていったら、こりゃダメだと思って引きずり下ろしますよ、これは。いや、そういう世界なんだ、これは。あなた方だってそうでしょう。それまで自分がどんどん引き上げていったのが成長したと、ところが自分より偉くなったら、これは困ったと、やっぱり思いませんか（笑）。

いや、その世界なんだね、これは。

それで次の、第三天界っていうのは、これはあなた方もよく知ってる閻魔天の世界ね、夜摩天といっているんだけれども、この世界は関係がないと。

それで第四天界の兜率天からは、また別の守護神がつきます。そして、だいたいアストラルのね、報身の世界、ここまでだいたいついていきます。

そして最後には、前生のグル、あるいは最高霊といったらいいのかな、それが本性身の世界でつきます。

だからだいたい三人つくとお考えください。で、もちろんこの第二番目の兜率天レベルの人は邪魔しないよ。もう精神的に安定しているから。よろしいですか。だから、どの辺のレベルを言っているかだね、問題は。現象的に満足したければ、やはり足を引っ張る守護神にお願いするしかないと。そうでなくて、高い世界に入って、最終的にマハー・ニルヴァーナに到達しようと考えるんだったら、その守護神は切り捨てなきゃならない。

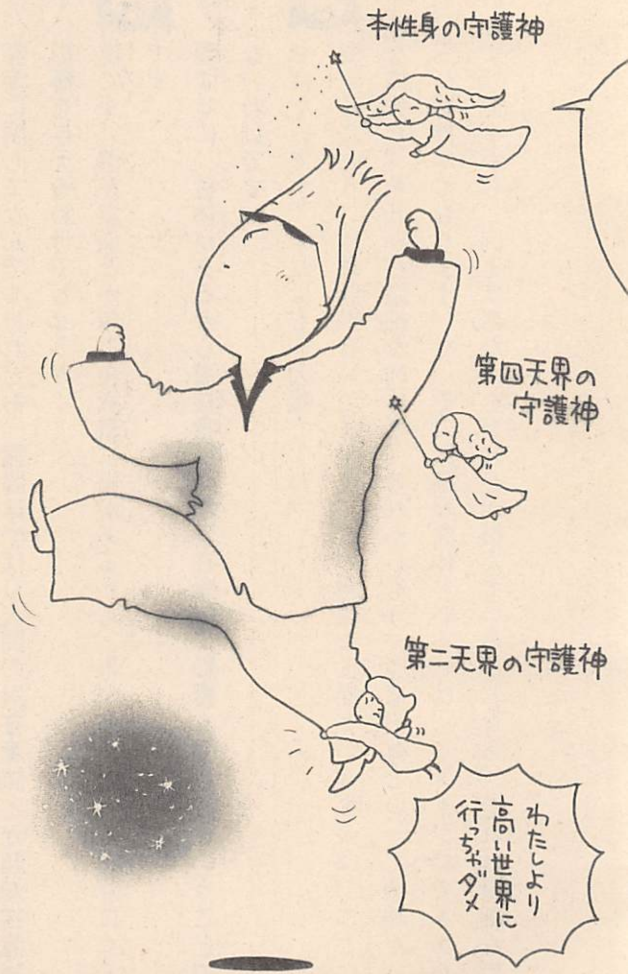
まあとにかく、今の日本の宗教というものは、欲界のね、だいたい阿修羅の世界までの宗教だとお考えになってよろしい。

だから第一番目の守護神っていうことになるよね、今一般的に説いているのは。でも、守護神がついたから金持ちになれるとか、あるいは恋愛がうまくいくとか、これはばかばかしいと思わないか。

守護神がいなくたって、人の三倍働けば金持ちにはなれるよ。どうですか、それは。ね、それからちゃんと女性を口説くような練習を一生懸命やれば、それは女性にはもてるようになります、それは（笑）。わざわざ一生懸命、念力で守護神を呼ぼうとしたって、念力でよって来るのは念の強い人だから、最終的には不幸になるよ、それは。だからそこは本末転倒しているような気がするよね、わたしは。

（八七年十一月一日・福岡支部）

高い世界に
行きたいなら
足を引っ張る
守護神とは別れなさい


本性身の守護神
第四天界の守護神
第二天界の守護神
わたしより高い世界に行っちゃダメ

霊障


霊障に関してなんですけれども、霊障はやはり人間の潜在意識とか超潜在意識に影響を与えるわけでしょうか。


逆です。潜在意識とか超潜在意識に傷があるから、毒があるから、霊障になるんです。


要するに、霊体があるから潜在意識や超潜在意識に影響を受けるということではないわけですね。


ではないです。それはもう大嘘ですね。

要するにどういう理論かといいますと、この粗雑な世界というものは、ここにある粗雑な肉体と、それから微細な肉体と、それからもう一つ原因体といって情報だけの体と、三つを持っております。で、その微細な肉体というのは、イメージでできあがっています。ですから、例えばあなたをだれかが恨んでいるとしたら、それは微細な肉体

に影響を与えます。そうすると、微細な肉体というのは潜在意識と深い関係がありますので、当然そこに傷ができるわけですね。おわかりですか。



チァクラと関係があるわけですか。



霊障体質の人は、だいたいせいぜいがムーラダーラ・チァクラ、スヴァディスターナ・チァクラしか使っていませんね。だから、もともと人類のためにと言っている人は、霊障の話はしません。だいたい自分のことだけを考えている人が、「あー、霊だ。霊につかれた」と言っております、これは。

ですから、霊障体質というのは治すことは簡単です。それはなぜかというと、自己の苦しみを喜びとし、他の苦しみを自己の苦しみとする実践を行なったならば、簡単に霊体質から逃れられるでしょうね、それは。だから、言い方を換えるならば、功徳の足りない人は霊体質になったり、魔境に入ったりします。で、功徳のある人は決して魔境には入らないし、霊体質にもなりません。

（八七年十一月二十二日・東京本部）

先祖霊

自分の先祖の中で変な死に方をした人がいる場合、自分に霊障が出るということはあるのでしょうか。

ないです、それは。ありません。

だってご先祖様っていうのは、ほとんど四十九日間で他に転生してしまうわけですから、地獄に生まれ変わったり、餓鬼に生まれ変わったり、動物に生まれ変わったりしているわけですから、ありませんね、それは当然。

（八七年十一月一日・福岡支部）




おばあちゃんどこに生まれ変わったかな

供養



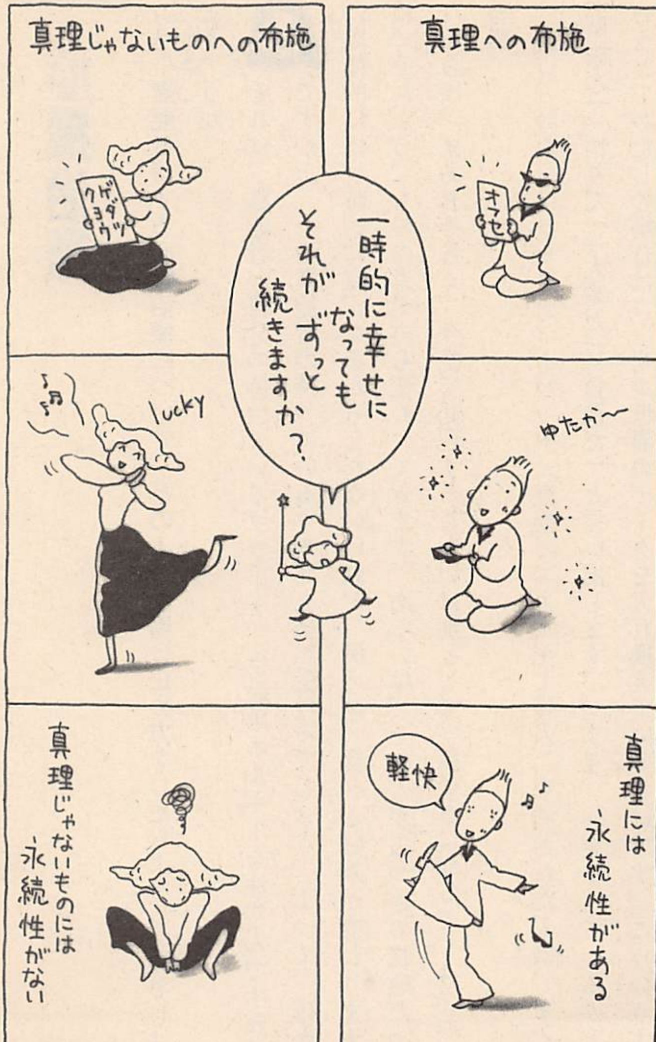
わたしの知り合いで霊障があると言われて解脱供養した人がいるのですが、その後、運が良くなったんです。それはどういうふうに考えればいいんでしょうか。



それは布施をなさったからじゃないですか。一時的に布施をなさって、それはだれに対してもそうだけれど、お金をあげたならば、その功徳は返ります。だからそう大したカルマじゃなかったんでしょうね。

ただね、一つ聞きたいのは、その後、その人がずっと幸福なのかどうかということが問題なんだ。わかりますか。真理じゃなくても、例えば人に物を施せば、それはカルマになって必ず返ってきます。真理には永続性があるけれども、真理じゃないものには永続性がない。だから、大切なことは、そのとき変わったことが大切なんじゃなくて、その変わった状態が永遠に続くかと。そしてその後、より高くステージを上げられるかどうかが問題なんですね。

（八七年十一月一日・福岡支部）


真理への布施
オフセ
真理じゃないものへの布施
一時的に幸せになっても
それがずっと続きますか？
ゆたか〜
lucky
軽快
真理には永続性がある
真理じゃないものには永続性がない

心霊治療



霊能者がする心霊治療について、どのような受け止め方をしたらよろしいのでしょうか。



それは、霊能者が自分の持っているプラーナ、生命エネルギーを注ぐんですね。ですから、その霊能者の持っているカルマも当然受けるでしょう。よって、確かに肉体的には一時的に良くなるかもしれないけれど、例えば、食べる好みが変わりますね。それから、ものの考え方も変わってきます。あるいは、その人が狐つきの状態だったならば、まあおそらく、今生で発現するしないは別として、狐つきになるでしょうね、当然。

逆に、わたしにシャクティーパット（直接のエネルギー移入）を施された人は、すぐ「解脱だ」「悟りだ」「大乗だ」「救済だ」と言い出します。つまり、何をやっているかというと、わたしの場合はコーザル世界のデータを入れ換えているわけです。こういうエ

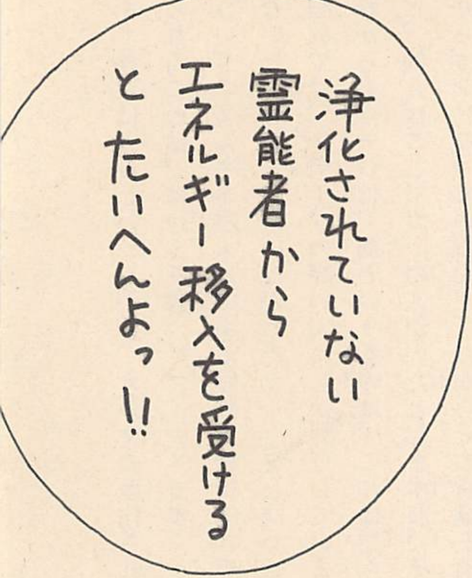
ネルギー移入はよろしい。しかし、カルマの浄化されていない霊能者からエネルギーを入れられることは、はっきり言ってマイナスです。

こういうエネルギー移入は、ある段階の精神的ステージがないと、煩悩のない状態でやらないと、相手に自分のけがれたカルマをしょわせることになります。だから、オウム真理教では、ステージの高い人にしか許可していません。

それからもう一つは、病というものは、これは知らせなんですね。知らせとは何かというと、例えばここでガンの人がいたとしますね。そうするとそのガンは「今お前は貪欲だからガンになっているんだ。だからその貪欲を消滅しないと次の生では大変な目に遭うぞ」という知らせなんです。だからむやみやたらに治してはいけないわけです、本当は。わかりますか。それを霊能で治してしまうと、悪いことをやっても構わないから、その人に帰依すればいいんだという考えが出てきます。そうすると、次の生、やはりその人は、帰依した人の子分というか弟子というかになるんでしょうね。そして、例えばその帰依した人がオスライオンに生まれ変わったならばメスライオンとして仕えるとか、そういう形になると考えられます。

魂の流れというのは、点ではなくて線なんですね。だから、その始めもない終わりもない線で、もし病気をしたって、それはカルマなんです。ですから、それは今自分に、守護神が、あるいは主宰神が「お前はこうなんだからこうなんだ」と教えているわけです。それを素直に受け止めてカルマを浄化する実践をするならば、ほとんどの病気は治るでしょうね、それだけで。どちらを選びますか。

（八七年十一月三日・大阪支部）




カルマを浄化すればほとんどの病気は治ります！
ゴンゴン
ちゅうもく!!
痛みが消えた
心霊治療

マリア像の涙



石で彫ったマリア像から涙が出たり血の涙が出たりするという話があるのですが、それは本当でしょうか。



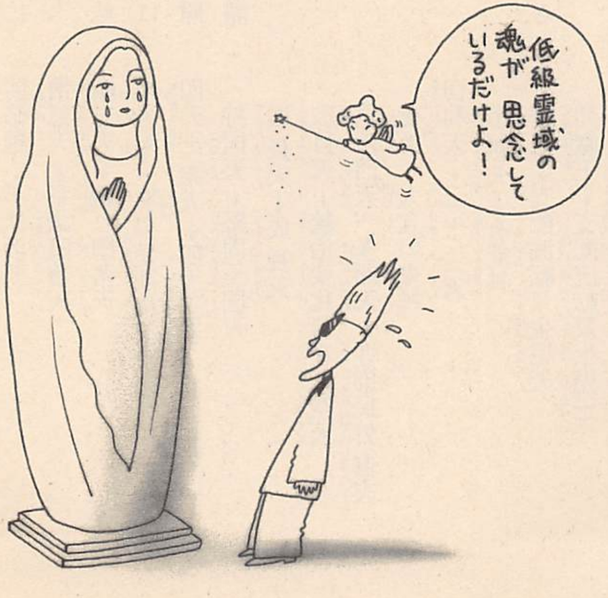
まずその前に、確認しなきゃならないことは、マリアは崇拝されるべきではありません。なぜならば、これはキリストも言っているとおり、主なるキリストを崇拝すべきであって、その母親はただ生んだにすぎないと。ところが、どうしてもキリストを崇高に仕上げていくために、家系的血縁というものにウェイトを置くことにより、教義の安定を図ったという欠点があります。

次に、涙が出たり血が出たりするというのは、これは明らかに低級霊域の現象です。ということは、マリアの血を流させたり涙を流させたりしてるのは明らかに低級霊域的現象であると見るべきだと思います。そして、低級霊域の特徴というのは貪りであり、今のキリスト教社会はどうかというと、まさに貪りが中心の社会ですので、これは一致

しているといえます。しかし、それを逆手にとって、悔い改めなきゃいけないんだと言いつつ、実際に悔い改めるための法則そのものがあるかといったら、実際はないと。だとするならば、それは矛盾だよね、わかりますか。

低級霊域のどういうものが涙を流させているのですか。

低級霊域で思念が強ければ、そういう現象は起きます。だから、低級霊域の魂で、やはり熱狂的なキリスト教信者じゃないかと考えるべきでしょう。（九二年六月十七日・高崎支部）



※オウム真理教では、本来の意味を正確に表わしていない既製の仏教用語は用いず、パーリ語原典を忠実に翻訳し、吟味した結果、決定した訳語を使っています。以下に、代表的な言葉の対比表を掲げますので参照してください。また、仏教・ヨーガの言語対比表も参考までに掲載しました。

◆言語対比表

欲界→愛欲界
無間地獄→超期間激苦地獄
叫喚地獄→号叫激苦地獄
鉢特摩地獄→紅蓮華のような状態になる激苦地獄
餓鬼→低級霊
阿修羅→不飲酒天
憤怒天→意識堕落天
戯忘天→戯れ堕落天
地居天→地上愛欲神天
四天王衆天→四大王天
持国天→堅固王国天
増長天→成長天
広目天→統治変化自在天空天
毘沙門天、多聞天→守庶民外傷天
夜叉→人食い鬼神
忉利天→三十三天
帝釈天→有能神
夜摩天→支配流転双生児天
閻魔王→支配流転双生児王
兜率天→除冷淡天

楽変化天、化楽天→創造満足天
他化自在天→為他神以神通創造欲望満足
従事天
悪魔→破滅天
色界→形状界
梵天→神聖天
梵衆天→神聖衆愛欲神天
梵輔天→神聖臣天
大梵天→大神聖天
浄天→美天
遍浄天→総美愛欲本質神天
広果天→偉大果報愛欲本質神天
浄居天→清潔居住天
無煩天→超空間愛欲神天

無熱天→超燃焼愛欲神天
善現天→善安楽愛欲神天
善見天→善現象愛欲神天
色究竟天→超越童子愛欲本質神天
無色界→非形状界
空無辺処→空間無辺境
識無辺処→識別無辺境
無所有処→無所有境
非想非非想処→非認知非非認知境
想受滅→認知経験滅尽

須弥山→完全無欠山
東勝身洲→東の高貴なる身体を得る大陸
南贍部洲、閻浮提→南のバラリンゴの大陸
西牛貨洲→西の願いがかなう牛の大陸
北倶盧洲→北の悪しき音の大陸

成劫→再生期
住劫→継続期
壊劫→還元期

釈迦牟尼→サキャ神賢
如来→真理勝者
応供→供養値魂
正等覚→最上正覚者
明行足→智徳成就者

善逝→最上善逝
世間解→世間解（変更なし）
無上士→無上士（変更なし）
調御丈夫→丈夫調御者
天人師→天人師（変更なし）
仏陀→覚者
世尊→世尊（変更なし）

菩薩→到達真智運命魂
比丘→向煩悩滅尽多学男
比丘尼→向煩悩滅尽多学女
優婆塞→帰依信男
優婆夷→帰依信女
僧伽→出家教団
長老→高弟

声聞→多学の弟子
沙門→出家修行者
沙弥→少年出家者
遊行者→托鉢修行者

バラモン→祭司
クシャトリヤ→武人
ヴァイシャ→庶民
シュードラ→奴隷

四双八輩→四対の人々・八つの宗教的特性を持つ人々
預流→真理の流れに入ること
一来→（愛欲界に）一度だけ再生すること
不還→不還（変更なし）

阿羅漢→供養値魂
四預流支→四つの真理の流れに入る段階
四聖諦→四つの聖なる絶対の真理
苦聖諦→苦しみの聖なる絶対の真理
集聖諦→苦しみの生起の聖なる絶対の真理
滅聖諦→苦しみの滅尽の聖なる絶対の真理
道聖諦→苦しみの滅尽に至る方法の聖なる絶対の真理
四念処→四つの記憶修習述

四正断、四正勤→四つの正しい努力

四如意足→四つの如意の基礎
欲如意足→決意如意の基礎
精進如意足→精進如意の基礎
心如意足→思念如意の基礎
観如意足→観慧如意の基礎

五根→五つの潜在性
信根→信の潜在性
精進根→精進の潜在性
念根→記憶修習の潜在性
定根→サマディの潜在性
慧根→智慧の潜在性

五力→五つの能力
信力→信の能力
精進力→精進の能力
念力→記憶修習の能力
定力→サマディの能力
慧力→智慧の能力

七覚支→七つの覚醒段階
念覚支→記憶修習正覚段階
択法覚支→検討正覚段階
精進覚支→精進正覚段階
喜覚支→喜正覚段階
軽安覚支→静寂正覚段階
定覚支→サマディ正覚段階
捨覚支→無頓着正覚段階

八正道→聖なる八段階の道
　正見→正見解
　正思惟→正思惟（変更なし）
　正語→正語（変更なし）
　正業→正行為
　正命→正生活
　正精進→正奮闘
　正念→正記憶修習
　正定→正サマディ

三苦→三つの苦しみの本質
　苦苦→苦しみの苦しみの本質
　行苦→悪い経験の構成の苦しみの本質
　壊苦→悪化の苦しみの本質

三受→三つの感覚
　楽受→楽の感覚
　苦受→苦しみの感覚
不苦不楽受→不苦不楽の感覚

四無量心
　慈→聖慈愛
　悲→聖哀れみ
　喜→聖称賛
　捨→聖無頓着

五取蘊→五つのとらわれの集積
　色取蘊→形状-容姿のとらわれの集積
　受取蘊→感覚のとらわれの集積
　想取蘊→表象のとらわれの集積

行取蘊→経験の構成のとらわれの集積
識取蘊→識別のとらわれの集積

五蓋→五つの障害
貪欲蓋→愛欲の衝動による障害
瞋恚蓋→害心による障害
惛眠蓋→頑固と愚鈍による障害
掉悔蓋→興奮と後悔による障害
疑蓋→疑念による障害

五妙欲→五つの愛欲の構成部分
色→形状-容姿
声→声
香→香り
味→味

触→接触

五下分結→五つの下位に結びつけるきずな
有身見→有身謬見
疑→疑念
戒禁取→戒誓のとらわれ
貪欲→愛欲の衝動
瞋恚→害心

五上分結→五つの上位に結びつけるきずな
色貪→形状愛著
無色貪→非形状愛著
慢→慢（変更なし）
掉挙→興奮
無明→非神秘力

八解脱→八つの離解脱

八勝処→八つの克服境

十遍処→十全境

十波羅蜜→十の徹底

十二縁起の法→十二の条件生起の段階

無明→非神秘力

行→経験の構成

識→識別

名色→心の要素-形状-容姿

六処→六つの感覚要素と対象

触→接触

受→感覚

愛→渇愛

取→とらわれ

有→生存

生→出生

苦→苦しみ

信→信（変更なし）

悦→歓喜

喜→喜（変更なし）

軽安→静寂

楽→楽（変更なし）

三昧→サマディ

如実知見→如実精通見解

遠離→現世否定

離貪→離愛著

解脱→離解脱

涅槃→煩悩破壊
般涅槃→完全煩悩破壊
中般涅槃→中完全煩悩破壊
生般涅槃→減少完全煩悩破壊
無行般涅槃→形状界にて経験の構成がなく功徳の果報を受けつつある完全煩悩破壊
有行般涅槃→形状界にて経験の構成があり真理の実践による完全煩悩破壊
一種者→一つの種子を持つ者
家家者→徳の高い家から家へと転生する者
極七返→最高七回流転者

正智→正精通
正解脱→正離解脱
心解脱→心の離解脱
慧解脱→智慧の離解脱
殺生→殺生（変更なし）
偸盗→与えられないものを強奪すること
邪淫→愛欲における邪悪な行為
妄語→嘘の言い方
綺語→軽薄語
悪口→乱暴な言葉
両舌→中傷の言葉
貪→愛著
瞋→邪悪心
癡→迷妄

愁→不運な出来事
悲→悲嘆
苦→苦しみ
憂→激痛
悩→悩み

五趣→五つの方向
善趣→幸福に向かうこと
悪趣→悲痛に向かうこと

カルマ→要素の蓄積
法→法則
梵行→神聖行
布薩→戒誓行
波羅提木叉→約束維持解放

頭陀→断修行障礙
袈裟衣→赤っぽい黄色の衣
衆生→生命体
四大種→四大元素
本生経→輪廻転生談

◆仏教・ヨーガ　言語対比表

愛欲界—現象界
形状界—アストラル世界
非形状界—コーザル世界
愛著—サットヴァ
邪悪心—ラジャス
迷妄—タマス



あなたに絶対の幸福を約束する

――オウム真理教

心身の悩みを解決したい
超健康体を得たい
豊かな生活を送りたい
素晴らしい人間関係を築きたい
スーパー・パワーを身につけたい
来世も幸福に生きたい
解脱し、永遠の至福を得たい

最高の教義、最高の奥儀、そして麻原尊師のもと、すべては確実に実現します。

●オウム真理教が誇る三つの基本的修行体系

1、マハーヤーナ

現実生活をより豊かにし、幸福な人生をお約束します。ご年輩の方、仕事が忙しく時間のあまり取れない方にお勧めです。

2、タントラ・ヴァジラヤーナ

行法、イニシエーションを中心として進め、霊性を向上させて、神秘世界を実体験することができます。この修行体系を選択すれば今生で解脱し、悟ることも夢ではありません。

3、テーラヴァーダ

原始仏教の上座部仏教を再現しました。真理にのっとって清浄な日常生活を送ることによって、幸せな来世が約束されます。また、経典の記憶修習によって心の成熟が促され、悟りを得ることが可能です。オウム真理教の深遠な教義を徹底的に学びたい方に最適です。

※資料請求券を貼付けしたハガキ、または電話にて最寄りの本・支部までご連絡ください。入信案内等、詳しい資料をお送りします。

キリトリ線

尊師に聞く！1
資料請求券

ズバリ！ 真理のメッセージ
リオン・テス・バシレイアス」

中波 720kHz　　毎日23:00～ 1:00
短波 日本語放送　毎日22:00～23:00
9月21日～10月31日 12.055MHz
11月1日～3月6日 7.310MHz
3月7日～5月 15.315MHz
英語放送（朝） 毎日 5:30～ 6:00
（昼） 毎日 1:30～ 2:00

※今週の聴きどころなどを毎日紹介。
便利なテレホンサービスもぜひご利用を。
TEL 03（5370）1608

※タイアップマガジン



定期購読受付中！

「えんじょい・はぴねす」

※詳しいお問い合わせは、
「エウアンゲリオン・テス・バシレイアス」係まで。
TEL 03（3335）4965

モスクワからあなたに――

オウム真理教放送「エウアンゲ



尊師の声が あなたの耳を直撃！

麻原尊師が電波にのってあなたのもとへ。
宗教、音楽、科学、神秘……。
盛りだくさんの内容と、
次から次への新しい発見で
眠気も吹っ飛ぶこの時間！
さあ、あなたも今日から尊師を聴こう！

“オウム真理教ネット”



※ただ今、新入会員の方に素敵なプレゼント(えんじょい・はぴねす最新号)をさしあげています。

●なお、その他詳細は下記までお問い合わせください。
〒168 東京都杉並区宮前3-8-11
“オウム真理教ネット” 事務局 TEL 03-5370-1721

好評！あなたとオウムをつなぐ
パソコン通信、

オウムについてもっと詳しく知りたい……
教義その他について、いろいろと聞きたいことがある……
オウムの人たちの生の声を聞いてみたい……
そんなあなたに最適な情報ネットワーク

"オウム真理教ネット" のご紹介

TEL番号	03-5370-1726（三回線） Tri-P利用可能（CXAUMNET）
通信速度	1200/2400bps
通信条件	BITS-8 PARITY-NONE STOP-1
プロトコル	X-MODEM Y-MODEM(-G)
ゲストID	GUEST
運用時間	24時間
入会方法	ゲストログイン後、 SYSOPあてメールにて申請

面倒な手続きはいっさいありません。オウムに興味をお持ちの方、聞いてみたいことがある方は、今すぐお気軽にご利用ください。

PART-13



これが尊師！

B6判　定価570円

雑誌・テレビ・ラジオにと、今大人気の麻原尊師。尊師の人気の秘密は何か？　雑誌社からの取材を中心に、様々な角度から尊師の魅力を探る。

PART-14

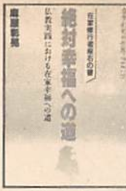


宗教の条件

B6判　定価570円

今、本物が明らかになる！　真の宗教の条件とは？　第三次宗教ブームと呼ばれる現在、様々な宗教の中から間違いなく本物を選び出すための条件を、あますところなく説き示す一冊。

PART-15



絶対幸福への道

B6判　定価620円

最終解脱者、麻原彰晃尊師が、幸福になるための最速・最短の道をあなたに伝授する！　あなたを確実に幸福へと導く秘法が満載の、在家修行者座右の書。

PART-16



麻原彰晃　方便品

B6判　定価720円

難解な仏典の比喩・奥儀が現代的に説き明かされた！　釈迦牟尼の深遠な教えの真髄を、最終解脱者麻原尊師が巧みな方便でわかりやすく解説。読んで、考え、実践するための、本物のお経を公開！

PART-17



世界は尊師を待っている

B6判　定価1030円

転換期にあるロシアでの説法、大学での講演、インタビュー等を集めた第一部。テーラヴァーダ仏教のスリランカでの高僧との対談を集めた第二部。四十八ページカラーで尊師の幅広い活動を紹介。

最新刊

PART-18



THE説法Ⅰ

世紀末の危機を乗り越えるために

B6判　定価670円

「解脱が二十一世紀の日本を、そして世界を背負う！」——新しい時代の文明理念が今明らかに！　道なき現代社会に明確な指針を与える麻原尊師の説法集。

PART-19



THE説法Ⅱ

初公開！　タントラ・ヴァジラヤーナ最高の教え

B6判　定価570円

本来ならば直弟子にしか明かされない秘儀、タントラ・ヴァジラヤーナの高度な内容も惜しみなく公開。激動の時代において絶対不動の自己を確立させてくれる麻原尊師の説法の集大成。

（価格にはすべて消費税が含まれています。）

● 全国の有名書店にてお求めください。弊社に直接お申し込みの場合は下記まで。

オウム出版　本　社　〒154　東京都世田谷区世田谷2-8-17　TEL03(3439)6043　振替　東京2-109325
営業部　〒168　東京都杉並区宮前3-8-11　TEL03(5370)1598

仏陀の智慧が光を放ち混迷の時代を照射する

INITIATION

イニシエーション

真理の御魂（みたま）　最聖麻原彰晃尊師著

この名著はすべてを語っていた！

「解脱」「悟り」のプロセスを細やかに説き明かし、最高の修行法を伝授する。
本来、選ばれた弟子にのみ明かされる秘儀——
ヨーガ・仏教の奥儀を極めた修行の正しさは、誕生した三五〇名の解脱者が証明する。
さらに、自民党の大勝と大敗、円高の進行、農作物輸入自由化など、今日の世界と日本の動向を正確に予言している、驚くべき記述の数々！

◎「解脱」「悟り」の真実／現代の仏陀麻原彰晃が最高の修行法を公開。
◎タントラ・イニシエーションの全貌／チベット密教・ゲールク派とオウムの秘儀を比較する。



武田 健さん（東京都／学生）
「末法の時代は終わった」ということを確実に感じさせる本である。

松岡謙次さん（愛媛県／警備員）
読めば読むほど、「頑張ろう、やるぞ」と思わせるような素晴らしい本です。

山本 勇さん（石川県／会社員）
解脱するまでの心の状態が、多くの例を挙げてわかりやすく書いてある。

大森恵子さん（山口県／店員）
他の書では得られない絶対なる真理に触れることができた。

武田葉子さん（熊本県／主婦）
「人間として最高の、最終の目的は何か」ということがはっきり示されています。

本間智加子さん（東京都／経理事務）
宗教に対する偏見がいっぺんに吹き飛んでしまいました。

◎確実に核戦争だ！／日本と世界の近未来を予言する。
◎総勢三十一名の体験談／「クンダリニーが覚醒する」「過去世が甦る」「悟りのプロセス」など、これが修行プロセスと霊的ステージの真実だ。

定価2163円　ご注文は書店にてお願いいたします。直接幣社にお申し込みの場合は下記まで。（送料300円）
オウム出版　〒154　東京都世田谷区世田谷2-8-17　電話03(3439)6043　郵便振替　東京2-109325


あの名著がグレードアップ！
増補改訂版
生死を超える
麻原彰晃尊師の不朽の大ベストセラー『生死を超える』が、新しく増補改訂して登場！
麻原尊師の教えに導かれ、生死を超えて解脱した四十八名の弟子の体験談を、解脱へのプロセスに沿って掲載した。
真理の御魂（みたま） 最聖麻原彰晃尊師著
B6判 定価1800円
オウム出版
本社 〒154 東京都世田谷区世田谷2・8・17 TEL03（3439）6043 振替 東京2・109325
営業部 〒168 東京都杉並区宮前3・8・11 TEL 03（5370）1598

マハーヤーナ・スートラ

MAHAYANASUTRA

真理の御魂 最聖麻原彰晃尊師著

解脱――それは光を超えて

魂は彷徨する、自由を求めて。
魂は飛翔した、歓喜の世界へ!!



解脱それは、一言では表現することのできない深遠で、広大な世界。今まで、曖昧に定義されていた解脱の段階と状態について、この本はわかりやすく解き明かします。真理の最終地点を目指すあなたにとって、欠くことのできない宝書。

B6判296ページ(巻頭カラー8ページ) 定価3090円

●ご注文は書店にてお願いいたします。直接弊社にお申し込みの場合は下記まで。

オウム出版 (本 社) 〒154 東京都世田谷区世田谷2-8-17
TEL 03(3439)6043 郵便振替 東京2-109325
(営業部) 〒168 東京都杉並区宮前3-8-11
TEL 03(5370)1598

ついに登場！

原始仏教の基本がわかる本

図解

麻原尊師の真理入門セミナー

STEP TO 真理 Shinri

宇宙の法則編

AUM PRES編　A5判　定価1150円（税込）



宇宙の創造、カルマの法則、輪廻転生など、だれもが知りたかったちょっと不思議で神秘的な“真理の教え”をオウム真理教の麻原彰晃尊師がやさしくレクチャー。初心者でも理解できるようにイラスト・図表をふんだんに使って構成した、ファン待望のオウム真理教入門書——。

●全国の有名書店でお求めください　弊社に直接お申し込みの場合は下記まで　定価には消費税が含まれています

オウム出版　本　社　〒154　東京都世田谷区世田谷2−8−17　TEL　03（3439）6043　振替　東京2−109325

営業部　〒168　東京都杉並区宮前3−8−11　TEL　03（5370）1598

この本をお読みになって、どのような感想をお持ちになりましたか。あなたのご意見を、ぜひ下記の「『尊師に聞く！』読者係」までお送りください。

〒154 東京都世田谷区世田谷2-8-17
オウム出版「『尊師に聞く！』読者係」

◆各道場のご案内◆

富士山総本部 0544(54)1267
〒418-01 静岡県富士宮市人穴381-1
東京本部 03(3327)8565
〒156 東京都世田谷区赤堤2-42-5 杉田村松ビル1F
新東京本部 03(3396)9393
〒167 東京都杉並区下井草4-4-4 井口ビル2F
大阪支部 06(397)1022
〒532 大阪府大阪市淀川区西宮原1-8-14 八光ビル2F
福岡支部 092(474)2877
〒812 福岡県福岡市博多区博多駅前2-6-15 第一渡部ビル6F
名古屋支部 052(252)0709
〒460 愛知県名古屋市中区栄5-8-14 万国ビル3F
札幌支部 011(241)4938
〒060 北海道札幌市中央区北2条西2丁目19-1 チサンホテル本館2F
京都支部 075(371)3759
〒600 京都府京都市下京区堀川通り松原上ル五軒町384 松本ビル2F
仙台支部 022(268)3904
〒982 宮城県仙台市若林区河原町1-4-20 十全会ビル2F
金沢支部 0762(51)8457
〒920 石川県金沢市京町25-20 ソフトオフィスビル2+4 2F
高知支部 0888(84)8286
〒780 高知県高知市はりまや町2-8-8 安藤ビル2F
広島支部 082(264)6250
〒732 広島県広島市南区西蟹屋4-4-18 和田ビル3F
横浜支部 045(243)8079
〒231 神奈川県横浜市中区若葉町3-41-2 コスモ伊勢佐木長者町ビル204
和歌山支部 0734(24)2859
〒640 和歌山県和歌山市駿河町42 和歌山酒販会館2F
水戸支部 0292(26)8044
〒310 茨城県水戸市中央2-2-1 HDビル6F
船橋支部 0474(66)4965
〒274 千葉県船橋市新高根6-26-18
那覇支部 098(869)7707
〒902 沖縄県那覇市安里2-4-12 嘉数グラビアハイツ5F
堺支部 0722(21)1843
〒590 大阪府堺市海山町4-168-9
高崎支部 0273(46)1573
〒370-12 群馬県高崎市倉賀野町 下稲荷前1081-5
福井支部 0776 (26) 6145
〒910 福井県福井市御幸3-3-41 東伸ビル2F
松本支部 0263(28)7429
〒399 長野県松本市芳川野溝527-3
深谷出張所 0485(74)6205
〒366 埼玉県深谷市萱場441-8
渋谷出張所 03(3476)5065
〒150 東京都渋谷区道玄坂1-15-3 プリメーラ道玄坂317号
〈海外支部〉
ニューヨーク支部 212(421)3687
8 East 48th St. #2E (2nd Floor), New York, N.Y. 10017 U.S.A.
ボン支部 (0228)616647
Auf dem Hügel 48, Endenich, 5300 Bonn 1, S.R.Germany
スリランカ支部
(AUM SACCA SAṄGHA ASSOCIATION)
Horahena, Watte, Angulugaha, Galle, Sri Lanka
モスクワ支部 095-451-62-41
Kindergarten No.468 ul. Dybenko, 6A, Moscow, 125475, Russia

尊師に聞く!

1



1992年11月10日・初版発行

定　価 ——— 600円
発行者 ——— 松本知子
　　　　　　　石井久子
編　集 ——— AUM Public Relations Editorial Staff
発　行 ——— 株式会社オウム
　　　　　　　〒154 東京都世田谷区世田谷2-8-17
　　　　　　　　TEL　03(3439)6043
　　　　　　　　振　替　東京2−109325
　　　　　　　※乱丁・落丁はお取り替えいたします

ISBN4-87142-059-0 C0014 P600E



尊師に聞く！

ISBN4-87142-059-0 C0014 P600E 定価600円(本体582円)